

RICOH

GR

RICOH GR IIIx

使用説明書

本製品のシリアル番号は、本体底面に記載されています。

1 章 基礎知識

お使いになる前に必ずお読みください。

RICOH GR IIIx の全体像を紹介しています。

2 章 準備

はじめてお使いになるときは必ずお読みください。

電源を入れる、撮影する、再生するなど、はじめてこのカメラをお使いの方でも基本的な操作ができるようになります。

3 章～

目的に応じて必要なときにお読みください。

いろいろな撮影や再生機能のほか、カメラのカスタマイズ、パソコンを利用する方法などが記載されています。

Model: R05010

お客様登録のお願い

このたびは、リコーイメージング製品をお買い求めいただきありがとうございます。
ご迷惑をおかけいたします。

ご購入商品に関する適切なサポートやサービスを提供するために、お客様登録をお願いしております。

お客様登録は、以下の弊社 Web サイトからお願いいたします。

<https://login.ricoh-imaging.co.jp/customer/menu.aspx>

なお、ご登録いただいた方には、E メール（ファームウェアなどのサポート情報）の配信を行っております。

はじめに

この使用説明書には、本カメラを使って撮影や再生機能を利用する方法や使用上の注意について記載してあります。

本カメラの機能を十分にご活用いただくため、ご使用の前に本書を最後までお読みください。本書が必要になったときにすぐに利用できるよう、お読みになった後は必ず保管してください。

ご使用にあたっては、カメラのファームウェアを常に最新の状態にしておくことをお勧めします。

最新のファームウェアの詳細については、ファームウェアダウンロードページをご参照ください。

<https://www.ricoh-imaging.co.jp>

リコーイメージング株式会社

安全上のご注意について	安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「安全上のご注意」をお読みください。
テスト撮影について	必ず事前にテスト撮影をして正常に記録されていることを確認してください。
著作権について	著作権の目的になっている書籍、雑誌、音楽などの著作物は、個人的または家庭内およびこれに準ずる限られた範囲内で使用する以外、著作者に無断で複写、改変などすることは禁じられています。
ご使用に際して	万一、本カメラなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。
保証書について	本カメラは国内仕様です。保証書は日本国内において有効です。海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。
電波障害について	<p>他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、以下のようにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none">・テレビやラジオなどからできるだけ離す・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える・コンセントを別にする <p>〈電波障害自主規制について〉 この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。</p>

VCCI-B

本書の一部または全部を無断転載することを禁止します。

© RICOH IMAGING COMPANY, LTD. 2022

本書の内容に関しては将来予告なく変更することがあります。

本書は内容について万全を期して作成いたしました。万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたら、巻末をご覧ください。

無線 LAN / Bluetooth® 機能について

- ・電気製品、AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- ・磁気や電磁波の影響を受けると、通信ができなくなることがあります。
- ・テレビ、ラジオなどの近くで使用すると、受信障害の原因になったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・近くに複数の無線 LAN アクセスポイント / Bluetooth® 機器が存在し、同じチャネルを使用していると正しく検索できない場合があります。
- ・データはお客様の責任において管理してください

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更し、混信を回避してください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービス窓口にお問い合わせください。

本製品は、電波法、電気通信事業法に基づく技術基準に適合し、技適マーク、および VCCI マークを、画面に電子的に表示することができます。



認証マークの表示方法

- 1 **MENU** を押してメニュー画面を表示する
- 2 **▲▼◀▶** を操作して **8** メニュー（情報表示）を表示する
- 3 **▲▼◀▶** を操作して「認証マーク」を選択し、**OK** を押す

商標について

- ・Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - ・Mac、macOS、OS X、App Store は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
 - ・iOS の商標は、米国 Cisco のライセンスに基づき使用されています。
 - ・Adobe、Adobe ロゴ、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
 - ・この製品は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の許可のもと、DNG 技術を取り入れています。
 - ・DNG ロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
 - ・SDXC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。
 - ・Google、Google Play、Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。
 - ・Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社リコーはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
 - ・USB Type-C は USB Implementers Forum の商標です。
 - ・DisplayPort は、Video Electronics Standards Association の米国その他の国における商標または登録商標です。
 - ・HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国々における HDMI ライセンシングの商標または登録商標です。
- 会社名、および製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。
- ・本製品は株式会社リコーがデザイン制作したりコー RT Font を使用しています。

AVC Patent Portfolio License について

本製品は、お客様が個人使用または報酬を受けないその他の利用で次の行為を行うために使用される場合
に限り、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC 規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものを AVC ビデオといいます）
- (ii) 個人利用の消費者によりエンコードされた AVC ビデオ、または AVC ビデオを供給することについ
てライセンスを受けている供給者から入手した AVC ビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLC から取得することができます。

<https://www.mpegla.com> をご参照ください。

オープンソースソフトウェアに関するお知らせ

本製品には GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他
のライセンスに基づくオープンソースソフトウェア (OSS) が含まれています。本製品に搭載される各
OSS のライセンスについては、本製品の内蔵メモリー上にテキストデータとして保存してあります。本
製品を PC と接続した上で、[Software License] - [oss_license] フォルダ内の各テキストファイル
のライセンス規定をご参照ください。




なお、GPL、LGPL 等のライセンス条件に従い、本製品で利用している OSS のソースコードを開示して
おります。入手をご希望されるお客様は、次の URL にアクセスしてください。

<https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/products/oss/>

安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- | | | |
|---|-----------|--|
|  | 危険 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って発生する可能性がある内容を示しています。 |
|  | 警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  | 注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

表示の例



❗ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

⊘ の中に具体的な禁止内容が描かれています。

● 表示例

⊘ 意味：接触禁止 ⊘ 意味：分解禁止

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

危険



● カメラを分解、修理、改造しないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険があります。



● 電池を分解、改造、直接ハンダ付けしたりしないでください。



● 電池を火の中に投入したり、加熱したり、火のそばや車の中など温度が高くなる場所で使用したり、放置しないでください。また、水や海水などにつけたり、濡らさないでください。



● 電池に釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、落下させたり、強い衝撃を与えないでください。



● 外傷、変形の著しい電池は使用しないでください。



● 電池の(+)と(-)を針金等の金属で接続しないでください。また、金属製のボールペンやネックレスなどと一緒に携帯したり、保管しないでください。



- 電池は、カメラもしくは別売りのバッテリー充電器 BJ-11 で充電してください。また、弊社の DB-110 対応デジタルカメラ以外にはご使用にならないでください。



- 異臭、発煙、過熱などの異常が発生したときは、すぐに使用をやめてください。修理は、お買い上げ店または修理受付センターにご依頼ください。



- 電池が漏液して液が目に入ったときには、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

警告



- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態がみられる場合は、すぐに電源を切ってください。感電や火傷に注意しながら速やかに電池を取り外してください。家庭用コンセントから電源を供給しているときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そして修理受付センターに連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。













- 万一、機械内部に異物（金属、水、液体など）が入った場合は、すぐに電源を切ってください。感電や火傷に注意しながら速やかに電池とメモリーカードを取り出してください。家庭用コンセントから電源を供給しているときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そして修理受付センターに連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。













- 画像モニターが破損した場合、中の液晶には十分注意してください。万一、次の状況になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
 - ・ 皮膚に付着した場合は、付着物を拭き取り、水を流しせっけんでよく洗浄してください。
 - ・ 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分洗浄した後、医師の診断を受けてください。
 - ・ 飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を与えて吐き出させた後、医師の手当てを受けてください。







- 電池の液漏れ、発熱、発火、破裂の防止のため、次のことをお守りください。
 - ・ この製品で指定している電池以外は、使用しないでください。
 - ・ 金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアークリップなどと一緒
に携帯、保管しないでください。
 - ・ 電子レンジや高圧容器に入れないでください。
 - ・ 使用中や充電中、液漏れしたり、異臭がする、変色するなどの異常がある場合は、直ちにカメラや充電器から取り外し、火気から遠ざけてください。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池の充電による火災、感電、破裂の防止のため、次のことをお守りください。 ・表示された電源電圧以外の電圧を使用しないでください。また、タコ足配線や延長コードの使用は避けてください。 ・電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。 ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。また、電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。布などに包んで使用しないでください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● この製品で使用している電池やメモリーカードを誤って飲み込むことがないよう、特に幼児・子供の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合は、人体に有害です。直ちに医師と相談してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● この製品を幼児・子供の手の届く範囲に放置しないでください。幼児・子供には「安全上のご注意」や「使用上のご注意」の内容が理解できずに事故発生の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 落下や損傷により内部が露出したときは、内部には手を触れないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険性があります。感電や火傷に注意しながら速やかに電池を取り出してください。破損したときは、お買い上げの店または修理受付センターに連絡してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 台所などの湯煙や湿気の当たるところ、水気のあるところでは使用しないでください。火災や感電の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 引火性ガスやガソリン、ベンジン、シンナー等の近くで使用しないでください。爆発や火災、火傷の原因となります。 ● 航空機の中など、使用が制限または禁止されている場所では使用しないでください。事故等の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因となります。 ● 家庭用コンセントをご利用になるときは、必ず専用の AC アダプターをご利用ください。指定以外の AC アダプターでは、火災・感電・故障の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器」などに充電器や AC アダプターを接続しないでください。火災・感電・故障の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり引っ張ったり、無理に曲げたりすると、電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

	●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
	●電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
	●万一、機械内部に異物（金属、水、液体など）が入った場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、修理受付センターに連絡してください。火災や感電の原因になります。 ●使用中に異常な音がするとき、煙が出るときなどの不具合がある場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてお買い上げ店または修理受付センターまで連絡してください。機器が故障したり、不具合のまま使用しないでください。
	●自分で分解しないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険性があります。
	●風呂場では使用しないでください。火災や感電の原因になります。
	●雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
	●電池は幼児の手の届く場所に置かないでください。
	●充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。
	●電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。
	●電池が漏液したり異臭がするときには直ちに火気より遠ざけてください。

注意

	●電池から漏れた液が肌に触れると、火傷の原因になります。破損した電池に触れた場合は、すぐに水で洗い流してください。（せっけんは使用しないでください） また、液漏れが起こったときは、液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。
	●電源プラグは、コンセントに確実に差し込んでください。火災の原因となります。
	●カメラを濡らさないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。
	●車両（自転車、車、列車等）の運転者に向けてフラッシュを発光しないでください。交通事故等の原因となります。



- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 布などに包んで使用しないでください。火災の原因になります。
- 端子部や電源コードの金属部をショートさせないでください。火災の原因になります。
- 台所などの油煙や湿気の当たるところ、水気のあるところでは使用しないでください。火災や感電の原因になります。

別売り品について

別売り品をお使いになるときは、各製品の使用説明書を操作の前に必ずお読みください。

もくじ

はじめに	1
安全上のご注意	4
1 基礎知識	13
同梱品を確認しましょう	13
各部の名称と機能	14
ボタン・ダイヤル・レバー	16
画像モニターの表示	18
撮影画面	18
再生画面	19
画面表示の切り替え	20
タッチパネルの操作	21
機能の設定方法	22
ボタン／レバーで設定する	22
メニューで設定する	25
メニュー一覧	27
❏ 静止画設定メニュー	27
■ 動画設定メニュー	30
▶ 再生設定メニュー	32
C カスタマイズ設定メニュー	33
↘ セットアップメニュー	36
2 準備しましょう	39
バッテリーとメモリーカードのセット	39
バッテリーとメモリーカードをセットする	39
バッテリーを充電する	40
初期設定	42
電源を入れる	42
言語と日時を設定する	43
メモリーカードをフォーマットする	44
撮影のキホン	46
プログラムモードで撮影する	46
撮影した画像を確認する	48

静止画を撮影する.....	50
露出モードを設定する	50
露出を補正する.....	55
動画を撮影する.....	56
動画を再生する.....	58
フォーカスを設定する	59
フォーカスモードを設定する	59
接写する（マクロ）.....	63
シャッターボタンをいっきに押して撮影する（フルプレスナック）.....	64
露出を設定する.....	65
測光方法を選択する	65
ISO 感度を設定する.....	66
フラッシュを使用する	67
ノイズを低減する	70
ホワイトバランスを設定する	72
ホワイトバランスを手動で設定する.....	75
色温度で設定する	76
ドライブモードを設定する	77
連続して撮影する（連続撮影）.....	78
露出を変化させて撮影する（ブラケット撮影）.....	79
画像を合成しながら撮影する（多重露出）.....	80
一定間隔で自動撮影する（インターバル撮影）.....	82
星の光跡などを記録する（インターバル合成）.....	84
セルフタイマーを使用する	86
記録方法を設定する	87
静止画の記録設定	87
動画の記録設定.....	88
画像仕上げと補正の設定	89
ND フィルターを利用する.....	89
モアレを低減させる（ローパスセクター）.....	89
写真の雰囲気を決めて撮影する（イメージコントロール）.....	90
周辺光量を補正する	92
階調を補正する（ダイナミックレンジ補正）.....	92
手ぶれを補正する	93
傾きを補正する.....	93

4 いろいろな再生と編集 94

再生機能を選択する	94
再生方法を変更する	95
複数画像を表示する	95
画像を回転して表示する	97
AV 機器と接続する	98
ファイルを整理する	99
消去する	99
プロテクトを設定する	100
内蔵メモリーの画像をカードへコピーする	101
画像を転送する	102
画像を加工・編集する	103
RAW 画像を現像する	103
画像サイズを変更する	105
ハイライト・シャドウを補正する（レベル補正）	106
ホワイトバランスを補正する	108
色モアレを補正する	109
画質を調整する	110
動画を編集する	111

5 画像を共有する 113

パソコンで利用する	113
通信端末で利用する	114
Bluetooth® で接続する	115
無線 LAN を有効にする	117
通信端末で操作する	119

6 設定を変更する 120

よく使う設定値を登録する	120
設定を登録する	120
設定をモードダイヤルに割り当てる	122
USER モードを利用する	123
ボタンをカスタマイズする	124
ADJ モードに機能を登録する	124
Fn ボタンの機能を変更する	126
シャッターボタンの動作を設定する	128

表示と音の設定.....	129
撮影時／再生時の表示情報を設定する.....	129
クイックビューの表示を設定する.....	130
ライブビューの表示を設定する.....	131
画像モニターの明るさと色みを設定する.....	131
ランプを設定する.....	132
電子音を設定する.....	133
省電力の設定.....	134
自動的に電源をオフにする.....	134
画像モニターの輝度を落とす.....	135
画像管理に関する設定.....	136
フォルダー／ファイルを設定する.....	136
著作権情報を設定する.....	141

7 付録 143

別売り品の取り付け.....	143
コンバージョンレンズ／レンズアダプター.....	143
AC アダプター.....	144
困ったときは.....	145
電源.....	145
撮影.....	146
再生／削除.....	148
その他.....	150
エラーメッセージ.....	151
主な仕様.....	153
カメラ本体.....	153
USB 電源アダプター.....	158
充電式バッテリー DB-110.....	158
記録可能枚数／時間.....	158
動作環境.....	160
海外でお使いのときは.....	161
使用上のご注意.....	162
お手入れと使用／保管場所について.....	164
アフターサービスについて.....	165
索引.....	166

同梱品を確認しましょう

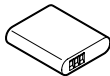
パッケージを開けたら同梱品を確認してください。



RICOH GR IIIx



ホットシュー
カバー
(カメラ装着)



充電式バッテ
リー (DB-110)



USB 電源アダ
プター



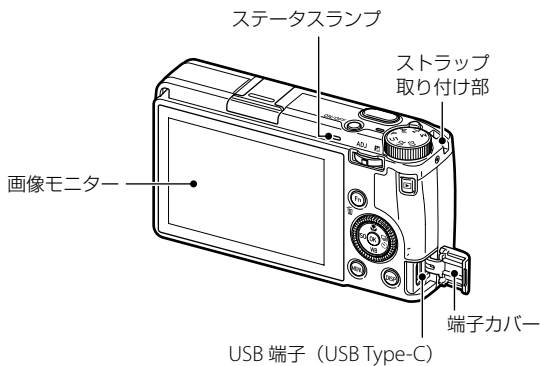
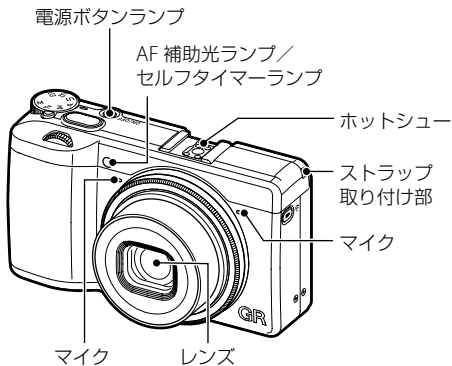
電源プラグ

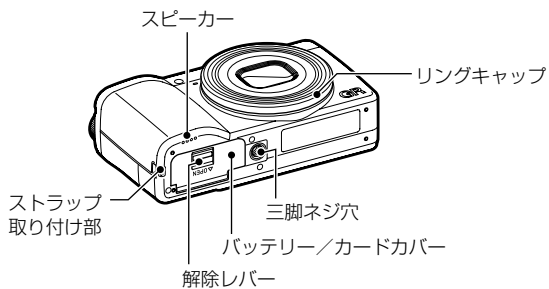
- USB ケーブル (I-USB166)
- ハンドストラップ
- 使用説明書 (本書)

各部の名称と機能

1

基礎知識

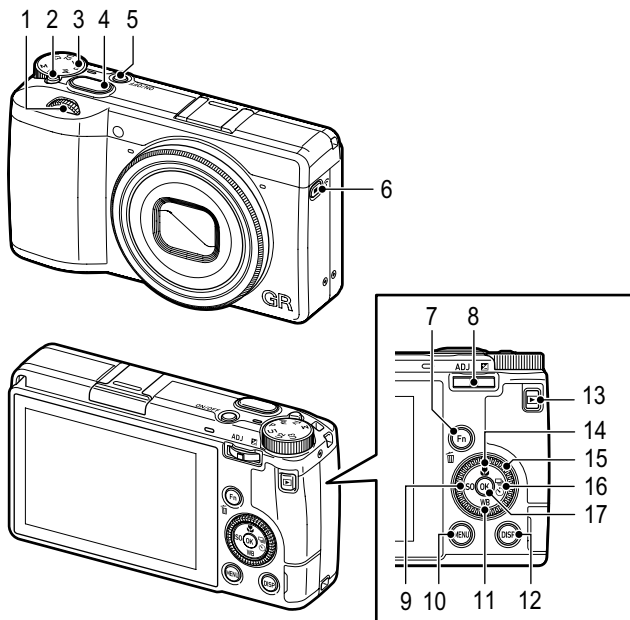




ボタン・ダイヤル・レバー

ボタン・ダイヤル・レバーの機能を説明します。
本書では（ ）内のアイコンで説明しています。

1 基礎知識



1 前電子ダイヤル (前)

ダイヤルを回して露出などの設定値の変更を行います。(p.51)

再生モードでは、拡大表示、複数画像表示を行います。(p.48、p.95)

2 ロックボタン

モードダイヤルを回すときに押します。

3 モードダイヤル

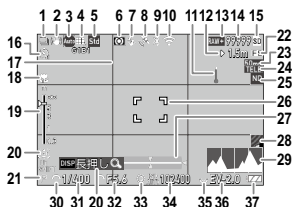
露出モードを切り替えます。(p.50)

- 4 シャッターボタン (SHUTTER)**
画像を撮影します。
半押しで AF が作動します。
(p.46)
- 5 電源ボタン**
電源のオン／オフを切り替えます。
(p.42)
- 6 動画 / 無線ボタン (□ / 〰)**
静止画モード／動画モードを切り替えます。
(p.56)
長押しすると、無線 LAN のオン／オフが切り替わります。
(p.118)
- 7 Fn / 消去ボタン (Fn / 〇)**
登録した機能呼び出します。
(p.24)
再生モードでは画像を消去します。
(p.48)
- 8 ADJ / 露出補正レバー (ADJ / 〰 / 〰)**
レバーを左右に倒して露出などの設定値の変更を行います。
撮影モードでレバーを押し込むと、ADJ モードになります。
(p.23)
- 9 ISO / 左ボタン (ISO / ◀)**
ISO 感度を変更するときに押します。
(p.66)
項目を選択中はカーソルを左に移動します。
- 10 MENU ボタン (MENU)**
メニューを表示します。メニュー表示中に押すと、1 つ前の画面に戻ります。
(p.25)
- 11 ホワイトバランス / 下ボタン (WB / ▼)**
ホワイトバランスの設定画面を表示します。
(p.73)
項目を選択中はカーソルを下に移動します。
- 12 DISP ボタン (DISP)**
撮影情報または再生情報の表示を切り替えます。
(p.20)
撮影モードで長押しすると、ライブビューが拡大表示されます。
(p.47)
- 13 再生ボタン (回)**
撮影モード／再生モードを切り替えます。
(p.48)
- 14 マクロ / 上ボタン (マ / ▲)**
マクロモードに切り替えます。
(p.63)
項目を選択中はカーソルを上移動します。
- 15 コントロールダイヤル (⦿)**
ダイヤルを回して露出などの設定値の変更や、メニュー項目の切り替え、画像の切り替えができます。
(p.51)
- 16 ドライブ / 右ボタン (回 / ▶)**
ドライブモードの設定画面を表示します。
(p.77)
項目を選択中はカーソルを右に移動します。
- 17 OK ボタン (OK)**
メニューなどの選択項目を決定します。

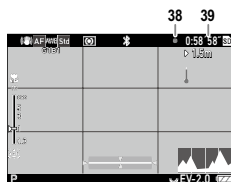
画像モニターの表示

撮影画面

1 基礎知識



静止画モード



動画モード

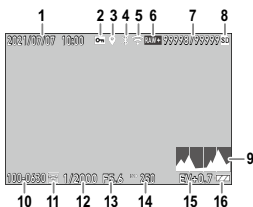
- 1 ドライブ (p.77)
- 2 Shake Reduction / Movie SR (p.93) / 自動水平補正 (p.93)
- 3 フォーカス (p.59)
- 4 ホワイトバランス (p.72)
- 5 イメージコントロール (p.90)
- 6 測光モード (p.65)
- 7 フラッシュモード (p.68)
- 8 GPS 受信状態 (p.119) *
- 9 Bluetooth® 通信 (p.115)
- 10 無線 LAN 通信 (p.117)
- 11 温度警告
- 12 スナップ撮影距離 (p.59)
- 13 記録形式 / JPEG 記録サイズ (p.87)
- 14 残り記録枚数
- 15 記録先
- 16 セルフタイマー (p.86)
- 17 グリッド (p.129)

- 18 マクロモード (p.63)
- 19 フォーカスバー / 被写界深度 (p.62)
- 20 操作ガイド
- 21 露出モード (p.50)
- 22 フルプレススナップ (p.64)
- 23 クロップ (p.88)
- 24 コンバージョンレンズ (p.143)
- 25 ND フィルター (p.89)
- 26 フォーカスフレーム (p.47)
- 27 電子水準器 (p.129)
- 28 ローパスセクター (p.89)
- 29 ヒストグラム (p.129)
- 30 前電子ダイヤル
- 31 シャッター速度 (p.51)
- 32 絞り値 (p.51)
- 33 コントロールダイヤル
- 34 ISO 感度 (p.66)
- 35 ADJ / 露出補正レバー

- 36 露出インジケーター／露出補正 (p.55)
37 バッテリー状態 (p.20)

- 38 動画記録中
39 記録時間／残り記録時間

再生画面



静止画モード



動画モード

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1 撮影日時 | 10 フォルダ／ファイル番号 (p.136) |
| 2 プロテクト (p.100) | 11 画像転送状態 (p.102) |
| 3 GPS 情報 (p.119) * | 12 シャッター速度 |
| 4 Bluetooth® 通信 (p.115) | 13 絞り値 |
| 5 無線 LAN 通信 (p.117) | 14 ISO 感度 |
| 6 記録形式／JPEG 記録サイズ (p.87) | 15 露出補正 |
| 7 再生ファイル数／総ファイル数 | 16 バッテリー状態 (p.20) |
| 8 再生元 | 17 記録時間／経過時間 |
| 9 ヒストグラム | 18 操作ガイド |








メモ

- ・撮影画面の No.8 と再生画面の No.3 の「GPS 情報」は、 6 メニュー [スマートフォン連携機能] の [位置情報の記録] を [オン] に設定して通信端末と連携すると表示されます。

バッテリー状態

バッテリーの残量によってアイコンの表示が変わります。

	残量が十分あります。
	残量が減り始めました。
	残量がわずかになりました。充電してください。
	まもなく電源が切れます。
	バッテリーが異常です。

画面表示の切り替え

DISP を押して、表示する情報を切り替えることができます。

撮影モード

撮影画面で表示情報を切り替えることができます。

標準情報表示	すべての情報を表示します。
簡易情報表示	露出の情報、AE ロック、AF 枠、MF 操作ガイドのみ表示します。
情報表示なし	設定値の変更時のみ情報を表示します。測距時は、AF 枠が表示されます。
画像モニターオフ	設定値の変更時のみ情報を表示し、AF 枠やライブビューも表示しません。



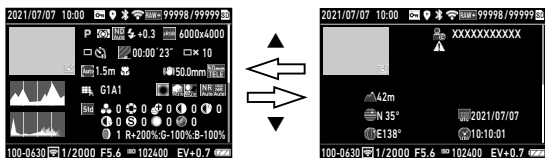
メニュー

- **C** 3 メニュー [撮影時表示設定] で、表示する内容を指定できます。
(p.129)

再生モード

1 画像表示のときに、[標準情報表示] [詳細情報表示] [情報表示なし] に切り替えることができます。

[詳細情報表示] では、▲▼ でページを切り替えます。



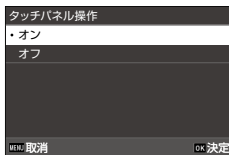
メモ

- **C3** メニュー [再生時表示設定] で、表示する内容を指定できます。
(p.129)
- 動画は、[ヒストグラム] [グリッド] [白とび警告] は表示されません。

タッチパネルの操作

機能の選択や撮影時の測距点の指定などで、画像モニターをタッチして操作することができます。

タッチパネルを使用しない場合は、**C2** メニュー [タッチパネル操作] を [オフ] に設定します。

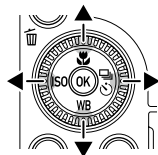


機能の設定方法

ボタン／レバーで設定する

ダイレクトキーで設定する

撮影モードで ▲▼◀▶ を押すと、すぐに設定ができます。以下の機能が実行できます。



▲ (🌸)	マクロモード (p.63)
▼ (WB)	ホワイトバランス (p.72)
◀ (ISO)	ISO 感度設定 (p.66)
▶ (📷)	ドライブモード (p.77)



メモ

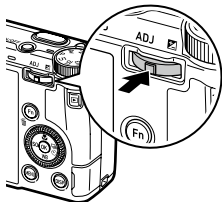
- 上記の機能は、**MENU** を押して **📷** メニューから設定することもできます。
- ◀ / ▶ の機能は、**C2** メニュー [Fn ボタン設定] の [ISO ボタン] [ドライブボタン] で設定を変更することもできます。(p.126)

ADJ レバーで設定する

撮影モードで **ADJ** を押すと、登録された機能が簡単に呼び出せます。

1 撮影モードで **ADJ** を押す

ADJ モードになり、登録されている機能のアイコンが表示されます。



1

基礎知識

2 ◀▶ で機能を選択する

初期設定では、以下の機能が選択できます。

- ・イメージコントロール (p.90)
- ・フォーカス (p.59)
- ・測光モード (p.65)
- ・記録形式 (p.87)
- ・アウトドアモニター (p.132)



3 ▲▼ で値を選択する

詳細設定が必要な場合は、**Fn** を押します。

4 **OK** を押す

選択した機能が設定され、撮影できる状態になります。

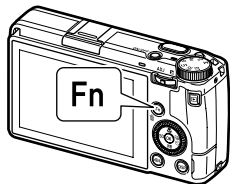


メモ

- ・ADJ モードの機能は、**C2** メニュー [ADJ モード設定] で変更ができます。(p.124)
- ・**C2** メニュー [シャッターボタン確定] を [オン] に設定すると、**SHUTTER** 半押しで ADJ モードの設定が終了します。(p.128)

Fn ボタンで設定する

撮影モードで **Fn** を押すと、登録された機能が実行できます。初期設定では [AF 作動 + AE ロック] が動作します。



1

基礎知識



メモ

- **Fn** の機能は、**C** 2 メニュー [Fn ボタン設定] で変更することができます。[Fn ボタン設定] では、[ISO ボタン] (◀) / [ドライブボタン] (▶) / [動画 / 無線ボタン] (📶) の機能も設定できます。(p.126)
- 電源をオンにしたときやモードダイヤルを回したときに、現在のボタンの機能が表示されます。**2** メニュー [ガイド表示] を [オフ] に設定すると、表示されません。



メニューで設定する

ほとんどの機能はメニューで設定します。

1

MENU を押す

📷 1 メニューが表示されます。



1

基礎知識

2

メニューの種類を変更するときは、**◀**を2回押してから**▲▼**で切り替える



📷	静止画設定メニュー (p.27)
📹	動画設定メニュー (p.30)
▶	再生設定メニュー (p.32)
C	カスタマイズ設定メニュー (p.33)
🔧	セットアップメニュー (p.36)

3

▶を2回押す

4

▲▼で機能を選択する

選択したメニューによって、1～11の項目に分かれています。項目ごとに選択する場合は、**◀**を押してから、**▲▼**で選択します。



5 設定する機能が見つかったら、▶を押す

選択した機能の設定値が表示されます。



6 ▲▼で設定値を選択し、OKを押す 手順4の画面に戻ります。

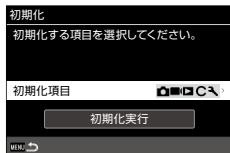
MENUを押すと、1つ前の画面に戻ります。

設定が終わったら **MENU** を何回か押して、元の画面に戻します。



メモ

- **MENU**を押すと、直前に操作したメニューの画面が最初に表示されます。そのときの状態に応じたメニューを表示したいときは、**2**メニュー [メニュー選択位置保持] を [オフ] に設定します。
- ▲▼の操作は、**6**（前電子ダイヤル）または **7**（コントロールダイヤル）を回して操作することもできます。
- 設定した値は、電源を切っても保存されています。**11**メニュー [初期化] で、メニューの種類ごとに設定を初期化することができます。



メニュー一覧

以下のメニューがあります。(下線・[] は初期設定)

📷 静止画設定メニュー



1
基礎知識

📷1 フォーカス設定

フォーカス	<u>オートエリア AF</u> 、セレクト AF、ピンポイント AF、追尾 AF、コンティニユアス AF、MF、スナップ、 ∞	p.59
顔 / 瞳検出	<u>オン</u> 、オートエリア AF のみ、オフ	p.60
AF 補助光	<u>オン</u> 、オフ	p.60
スナップ撮影距離	1m、1.5m、2m、 <u>2.5m</u> 、5m、 ∞	p.59
フルプレススナップ	<u>オン</u> 、オフ	p.64
フォーカスアシスト	エッジ強調、エッジ抽出、 <u>オフ</u>	p.60
コンティニユアス AF 動作	<u>フォーカス優先</u> 、コマ速優先	p.59
MF 時の自動拡大表示	オン、 <u>オフ</u>	p.62

📷2 露出設定

露出モード切替	プログラム AE、絞り優先 AE、シャッター優先 AE、マニュアル露出	p.123
測光モード	<u>分割</u> 、中央重点、スポット、ハイライト重点	p.65

ISO 感度設定	ISO 感度設定：AUTO、100 ～ 102400 ISO 感度オート上限値：下限感度より 1 つ高い感度～最高感度 [6400] ISO 感度オート下限値：最低感度～上限感度より 1 つ低い感度 [100] 低速限界値：1 秒～ 1/1000 秒 [1/40]	p.66
フラッシュモード	フラッシュモード：強制発光、赤目軽減 強制発光、スローシンクロ、赤目軽減スローシンクロ フラッシュ光量補正：-2.0 ～ +1.0	p.68
プログラムライン	<u>ノーマル</u> 、開放優先、深度優先（深い）	p.53
ND フィルター	オート、オン、オフ	p.89
連動外の自動補正	オン、 <u>オフ</u>	p.51
測距点と露出の関連付け	オン、 <u>オフ</u>	p.65
📷3 ホワイトバランス設定		
ホワイトバランス	オート WB、マルチパターンオート、太陽光、日陰、曇天、昼光色蛍光灯、昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、電球色蛍光灯、白熱灯、CTE、マニュアル WB、色温度	p.72
光源指定時の自動調整	オン、 <u>オフ</u>	p.74
白熱灯下のオート WB	<u>強</u> 、弱	p.74
📷4 撮影設定		
静止画 / 動画切替	<u>静止画</u> 、動画	p.56
マクロモード	オン、 <u>オフ</u>	p.63
ドライブモード	ドライブ：1 コマ撮影、連続撮影、ブラケット撮影、多重露出、インターバル撮影、インターバル合成 セルフタイマー：10 秒、2 秒、 <u>オフ</u>	p.77
ローパスセレクト	<u>強</u> 、弱、 <u>オフ</u>	p.89

📷5 記録設定

記録形式	JPEG、RAW、RAW+JPEG	p.87
アスペクト比	3:2、1:1	
クロップ	50mm、71mm、 <u>オフ</u>	
JPEG 記録サイズ	L、M、S、XS	
色空間	sRGB、AdobeRGB	

📷6 画像仕上設定

イメージコントロール	スタンダード、ビビッド、モノトーン、ソフトモノトーン、ハードモノトーン、ハイコントラスト白黒、ポジフィルム調、ブリーチバイパス、レトロ、HDR 調、クロスポセス、カスタム 1、カスタム 2	p.90
周辺光量補正	<u>オン</u> 、オフ	p.92
ダイナミックレンジ補正	ハイライト補正： <u>オート</u> 、オン、オフ シャドウ補正： <u>オート</u> 、弱、中、強、オフ	p.92
ノイズリダクション	長秒時ノイズ低減： <u>オート</u> 、オン、オフ 高感度ノイズ低減： <u>オート</u> 、弱、中、強、カスタム、オフ	p.70

📷7 撮影補助

Shake Reduction	<u>オン</u> 、オフ	p.93
SR の自動オフ	<u>自動オフする</u> 、自動オフしない	p.93
自動水平補正	オン、 <u>オフ</u>	p.93

動画設定メニュー

1

基礎知識

動画設定		
	フォーカス	AF
	スナップ撮影距離	2.5m
	フォーカスアシスト	⌵
	MF時の自動拡大表示	オフ
	測光モード	☑
	NDフィルター	⌵
	ホワイトバランス	AWB

■1 フォーカス設定

フォーカス	AF、MF、スナップ、 ∞	p.59
スナップ撮影距離	1m、1.5m、2m、 <u>2.5m</u> 、5m、 ∞	p.59
フォーカスアシスト	エッジ強調、エッジ抽出、 <u>オフ</u>	p.60
MF 時の自動拡大表示	オン、 <u>オフ</u>	p.62

■2 露出設定

測光モード	分割、中央重点、スポット、ハイライト重点	p.65
ND フィルター	オン、 <u>オフ</u>	p.89

■3 ホワイトバランス設定

ホワイトバランス	オートWB、太陽光、日陰、曇天、昼光色蛍光灯、昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、電球色蛍光灯、白熱灯、CTE、マニュアルWB、色温度	p.72
光源指定時の自動調整	オン、 <u>オフ</u>	p.74
白熱灯下のオートWB	<u>強</u> 、弱	p.74

■4 撮影設定

静止画 / 動画切替	<u>静止画</u> 、動画	p.56
マクロモード	オン、 <u>オフ</u>	p.63

■6 記録設定

フレームレート	60p、30p、24p	p.88
音声記録	オン、オフ	

■6 画像仕上設定

イメージコントロール	スタンダード、ビビッド、モノトーン、ハードモノトーン、ハイコントラスト白黒、ポジフィルム調、ブリーチバイパス、レトロ、クロスプロセス、カスタム 1、カスタム 2	p.90
周辺光量補正	オン、オフ	p.92
ダイナミックレンジ補正	ハイライト補正：オート、オフ シャドウ補正：オート、弱、中、強、オフ	p.92

■7 撮影補助

Movie SR	オン、オフ	p.93
----------	-------	------

再生設定メニュー

1

基礎知識



1 ファイル操作

消去	1 画像消去、全画像消去	p.99
プロテクト	1 画像プロテクト、全画像プロテクト	p.100
回転	左 90°、180°、右 90°	p.97
コピー	—	p.101
転送	1 画像転送	p.102

2 画像編集

RAW 現像	JPEG 記録サイズ、アスペクト比、色空間、ホワイトバランス、イメージコントロール、周辺光量補正、増減感、高感度ノイズ低減、シャドー補正	p.103
リサイズ	—	p.105
トリミング	—	p.105
レベル補正	—	p.106
ホワイトバランス補正	—	p.108
色モアレ補正	弱、中、強	p.109
JPEG 画質調整	明るさ、彩度、フィルター効果、色相、調色、コントラスト、シャープネス	p.110
動画編集	切出し、分割	p.111

3 再生設定

画像の自動回転	オン、オフ	p.97
再生順序設定	ファイル番号、撮影日時	p.95
再生音量	0 ~ 20 [10]	p.58

C カスタマイズ設定メニュー

カスタマイズ設定

- 設定登録
- 名称変更
- 呼び出し
- 登録消去
- C** Mモードダイヤル設定
- ADJモード設定
- Fnボタン設定

1

基礎知識

C 1 USER モード

設定登録	—	p.120
名称変更	—	p.121
呼び出し	—	p.122
登録消去	—	p.121

C 2 操作カスタマイズ

M モードダイヤル設定	カスタム 1、カスタム 2	p.54
ADJ モード設定	オフ、 <u>フォーカス</u> [設定 2]、スナップ撮影距離、 <u>記録形式</u> [設定 4]、アスペクト比、クロップ、JPEG 記録サイズ、 <u>測光モード</u> [設定 3]、ISO 感度設定、フラッシュモード、フラッシュ光量補正、ドライブ、セルフタイマー、 <u>イメージコントロール</u> [設定 1]、M モードワンプッシュ AE、タッチ AF、 <u>アウトドアモニター</u> [設定 5]	p.124

Fn ボタン設定	<p>オフ、フォーカス、MF 切替、スナップ切替、追尾 AF 切替、AF 作動、<u>AF 作動 + AE ロック</u> [Fn ボタン]、AE ロック、顔 / 瞳検出、スナップ撮影距離、記録形式、JPEG → RAW、JPEG → RAW+、アスペクト比、クロップ、JPEG 記録サイズ、フレームレート、<u>静止画 / 動画切替</u> [動画 / 無線ボタン]、測光モード、<u>ISO 感度設定</u> [ISO ボタン]、フラッシュモード、フラッシュ光量補正、ND フィルター、<u>ドライブモード</u> [ドライブボタン]、ドライブ、連続撮影、セルフタイマー、イメージコントロール、Shake Reduction、M モードワンプッシュ AE、十字キー動作切替、タッチ AF、アウトドアモニター、<u>無線 LAN 設定</u> [動画 / 無線ボタン長押し]、プレビューフォーカス設定：<u>シャッターボタンと同じ</u>、オートエリア AF、セレクト AF、ピンポイント AF、追尾 AF、コンティニュアス AF</p> <p>AE ロック維持：オン、<u>オフ</u></p> <p>M モードワンプッシュ AE：プログラム AE、<u>絞り優先 AE</u>、シャッター優先 AE</p>	p.126
シャッターボタン設定	<u>AF 作動 + AE ロック</u> 、AE ロック	p.128
十字キー優先動作	<u>ダイレクトキー優先</u> 、測距点移動優先	p.61
シャッターボタン確定	オン、 <u>オフ</u>	p.128
タッチパネル操作	<u>オン</u> 、オフ	p.21
タッチ AF	<u>測距点移動</u> 、測距点移動 + AF、測距点移動 + AF+ 撮影、フルプレススナップ、オフ	p.52

C3 表示カスタマイズ		
撮影時表示設定	標準情報表示、簡易情報表示、情報表示なし、画像モニターオフ	p.129
再生時表示設定	標準情報表示、情報表示なし	
クイックビュー	表示時間： <u>0.5 秒</u> 、1 秒、2 秒、3 秒、HOLD、オフ 拡大表示：オン、 <u>オフ</u> 消去：オン、 <u>オフ</u>	p.130
クイック拡大	x4、x8、x16、 <u>100%</u>	p.130
測距位置拡大	<u>オン</u> 、オフ	p.49
グリッドの種類	<u>9 分割</u> 、16 分割	p.131
電子水準器の種類	水平 + <u>アオリ</u> 、水平	
フリッカー低減	<u>50Hz</u> 、60Hz	

③ セットアップメニュー

1

基礎知識



③ 1 ファイル設定

フォーマット	メモリーカード、内蔵メモリー	p.44
フォルダ新規作成	—	p.136
フォルダ名	フォルダ名：日付、 <u>任意</u> 任意文字列 [RICOH]	p.137
ファイル名	静止画：任意の 2 文字 [R0] 動画：任意の 2 文字 [R0]	p.139
連番設定	フォルダ & ファイル、ファイル、オフ	p.140
連番リセット	—	p.140
著作権情報	著作権情報の添付： <u>オン</u> 、 <u>オフ</u> 著作権情報：任意の 32 文字	p.141

③ 2 表示設定

メニュー選択位置保持	<u>オン</u> 、オフ	p.26
ガイド表示	<u>オン</u> 、オフ	p.24
再生アニメーション	<u>オン</u> 、オフ	p.49

③ 3 画像モニター設定

画像モニター設定	明るさ：-7 ～ +7 彩度：-7 ～ +7 ブルー / アンバー調整：-7 ～ +7 グリーン / マゼンタ調整：-7 ～ +7	p.131
アウトドアモニター	-2 ～ +2	p.132

ㄨ4 発光部設定		
電源ボタンランプ	<u>オン</u> 、オフ	p.132
カウントダウン	<u>オン</u> 、オフ	
ㄨ5 電子音設定		
電子音	<u>すべて鳴らす</u> 、シャッター音のみ鳴らす	p.133
音量	0～3 [2]	
ㄨ6 無線通信		
Bluetooth 設定	動作モード：電源オフ時も接続する、電源オン時のみ接続する、 <u>使用しない</u> ペアリング 通信情報	p.115
無線 LAN 設定	動作モード： <u>オン</u> 、 <u>オフ</u> 通信情報	p.117
スマートフォン連携機能	位置情報の記録： <u>オン</u> 、 <u>オフ</u> 自動画像転送： <u>オン</u> 、 <u>オフ</u> オートリサイズ： <u>オン</u> 、 <u>オフ</u> 電源オフ時の画像転送： <u>オン</u> 、 <u>オフ</u>	p.119
ㄨ7 電源設定		
オートパワーオフ	<u>1分</u> 、3分、5分、10分、30分、オフ	p.134
スリープ	<u>1分</u> 、3分、5分、10分、30分、オフ	p.135
画像モニター節電	<u>オン</u> 、オフ	
ㄨ8 情報表示		
バージョン情報	—	—
認証マーク	—	p.2
ㄨ9 撮像素子メンテナンス		
ピクセルマッピング	—	p.149
ダストリムーバル	ダストリムーバル実行 起動時の作動： <u>オン</u> 、オフ 終了時の作動： <u>オン</u> 、オフ	p.149

🔗 10 言語・日時設定

Language/言語	英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、イタリア語、オランダ語、デンマーク語、スウェーデン語、フィンランド語、ポーランド語、チェコ語、ハンガリー語、トルコ語、ギリシャ語、ロシア語、タイ語、韓国語、中国語（繁体字）、中国語（簡体字）、日本語	p.43
日時設定	表示スタイル：Y/M/D、D/M/Y、M/D/Y 日付：2021 年 1 月 1 日～2070 年 12 月 31 日 時刻：00:00～23:59	p.43

🔗 11 初期化

初期化	初期化項目：📷、📺、📺、📺、🔗 初期化実行	p.26
-----	--------------------------	------

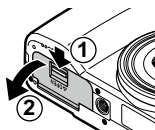
バッテリーとメモリーカードのセット

バッテリーとメモリーカードをセットする

本カメラは、市販の SD メモリーカード / SDHC メモリーカード / SDXC メモリーカードが使用できます。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。

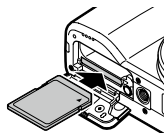
1 カメラの電源がオフになっていることを確認する

2 カメラ底面の解除レバーを「OPEN」側にスライドさせ、バッテリー／カードカバーを開ける



3 メモリーカードの向きに注意し、「カチッ」と音がするまでメモリーカードを奥へ挿入する

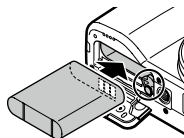
取り出すときは、メモリーカードを押し込んで手を放します。



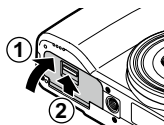
4 バッテリーを挿入する

バッテリー側面でツメを押しながら奥まで入れます。

取り出すときは、ツメを横にずらします。



5 バッテリー／カードカバーを閉じ、解除レバーを「OPEN」と反対側にスライドさせてロックする



データの記録先

撮影したデータは、カメラ本体の内蔵メモリーかメモリーカードのどちらかに記録されます。



メモ

- ・内蔵メモリーのデータはメモリーカードにコピーすることができます。(p.101)
- ・記録可能枚数／時間は、メモリーカードの容量によって異なります。(p.158)

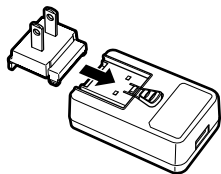
バッテリーを充電する

付属の充電式バッテリー DB-110 は、使用する前に充電してください。付属の USB ケーブル I-USB166 と USB 電源アダプター、電源プラグで充電を行います。

1

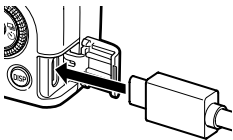
電源プラグを USB 電源アダプターに取り付ける

「カチッ」と音がするまで取り付けてください。



2

端子カバーを開け、USB 端子に USB ケーブルを接続する

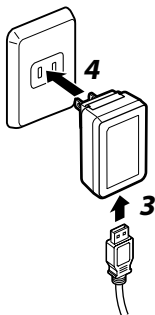


3 USB 電源アダプターに USB ケーブルを接続する

4 コンセントに USB 電源アダプターを差し込む

カメラのステータスランプが点灯し、充電が始まります。

充電時間はバッテリーの残量によって異なります。バッテリーが空のときは、約 2.5 時間で充電が完了します。(25℃の場合)
ステータスランプが消灯したら充電は終了です。



5 USB 端子から USB ケーブルを抜き、端子カバーを閉じる



記録可能枚数

- ・バッテリーフル充電時の記録可能枚数の目安は、約 200 枚です。
- ・記録可能枚数は CIPA 規格に準拠した測定条件によるものです。(温度 23℃、画像モニターオン、30 秒ごとに撮影、10 枚撮影するごとに電源をオフ/オンを繰り返し)
- ・記録可能枚数は目安です。長時間で使用する場合は、予備のバッテリーを用意することをお勧めします。



注意

- ・充電式バッテリーは、純正品 (DB-110) を使用してください。
- ・正しく充電しても使用できる時間が短くなった場合は、バッテリーの寿命です。その場合は、新しいバッテリーと交換してください。
- ・使用直後のバッテリーは高温になることがあります。バッテリーの取り出しは、カメラの電源をオフにして温度が下がってから行ってください。
- ・充電中にカメラの電源をオンにすると、充電が中断します。



メモ

- ・USB ケーブルでカメラとパソコンを接続したときも、バッテリーの充電ができます。(p.113)
- ・別売りのバッテリー充電器 BJ-11 を利用することもできます。

初期設定

電源を入れて初期設定をします。

電源を入れる

2

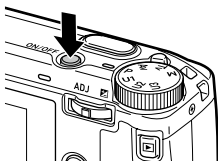
準備しよ

1 電源ボタンを押す

電源ボタンが点灯し、ステータスランプが数秒間点滅します。

はじめて電源を入れたときは、[Language/言語] 画面が表示されます。

再度電源ボタンを押すと、電源がオフになります。



再生モードで電源をオンにする

- 電源がオフの状態では、再生ボタンを長押しすると、再生モードで電源がオンになります。
このときは、以下の操作ができます。

	電源オフ
半押し	撮影モードに切り替え



無線 LAN を有効にして電源をオンにする

- 電源がオフの状態では電子音が鳴るまで再生ボタンを押し続けると、再生モードで起動して無線 LAN が有効になります。(p.118)
- この操作を行ったときは、シャッターを押しても撮影モードには切り替わりません。撮影等を行うときは、再生ボタンを押して電源を切ってから電源ボタンで電源を入れ直してください。



メモ

- 電源ボタンのランプは、メニュー [電源ボタンランプ] で [オフ] に設定できます。(p.132)
- 電源をオンにしてから約 1 分間(初期設定)操作しないと、バッテリーの消耗を抑えるため、自動的に電源がオフになります。省電力に関する設定は、メニューで設定できます。(p.134)
- 電源をオフにしたときに、その日に記録した画像の枚数(消去画像を除く)が表示されます。

言語と日時を設定する

メニュー等の表示言語と日時を設定します。

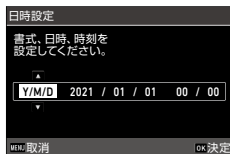
1 ▲▼で言語を選択して **OK** を押す

言語が設定され、[日時設定] 画面が表示されます。

2 表示形式と日時を設定する

◀▶で項目を移動し、▲▼で数値を変更します。

MENU を押すと、設定がキャンセルされます。




3 **OK** を押す

日時が設定され、撮影できる状態になります。



メモ

- バッテリーを取り出してから約 5 日間経過すると、設定した日時がリセットされます。日時を保持するためには、十分に残量のあるバッテリーを 2 時間以上セットしてからバッテリーを取り出してください。
- 設定した言語・日時は、 10 メニューで変更ができます。

2

準備
しまし
よう

メモリーカードをフォーマットする

新しいメモリーカードや他の機器で使用したメモリーカードを使用する場合は、本カメラでフォーマットを実行する必要があります。この操作で、内蔵メモリーもフォーマットすることができます。

2

準備
しまし
ょう

- 1** **MENU** を押す
メニューが表示されます。

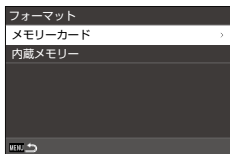
- 2** **◀** を 2 回押し、**▲▼** で **🔍** を選択
する



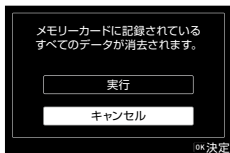
- 3** **▶** を 2 回押して「フォーマット」を選
択し、**▶** を押す



- 4** **▲▼** で「メモリーカード」[内蔵メモ
リー] を選択し、**▶** を押す
確認の画面が表示されます。



- 5** **▲** で「実行」を選択し、**OK** を押す
フォーマットが実行され、手順 4 の画面
に戻ります。



- 6** **MENU** を 2 回押す
撮影画面に戻ります。



注意

- フォーマット中は、絶対にメモリーカードを取り出さないでください。カードが破損することがあります。
- フォーマットを行うと、プロテクトされていた画像も含めて全データが消去されます。



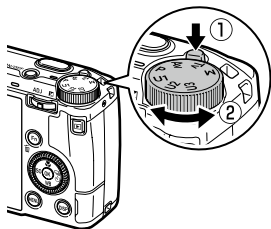
メモ

- フォーマットを行うと、メモリーカードに「RICOH GR」というボリュームラベルが付きます。

プログラムモードで撮影する

- 1** ロックボタンを押しながらモードダイヤルを回し、**P** に合わせる

露出モードが「プログラム AE」になり、ライブビューが表示されます。



- 2** **SHUTTER** を半押しする

ピント合わせが行われ、露出が固定されます。

最大 25 点で測距し、ピントが合っている位置を緑の枠で表示します。



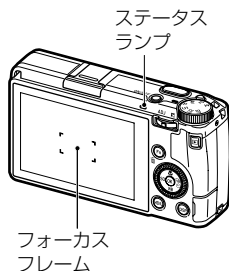
- 3** **SHUTTER** を全押しする

撮影した画像が画像モニターに表示（クイックビュー）され、記録されます。



ピントについて

- ピントの状態は、画像モニター中央の枠の色とステータスランプで確認できます。



ピントの状態	枠の色	ステータスランプ
ピント合わせ前	白	消灯
ピントが合ったとき	緑	緑点灯
ピントが合わなかったとき	赤	緑点滅



ライブビュー拡大

- ライブビューが表示されているときに、画像を拡大して表示することができます。
- 以下の操作ができます。

DISP 長押し	ライブビューを拡大表示
	拡大倍率を [x4] [x16] に切り替え
 /スライド	拡大表示エリアを移動
OK	全体表示に戻す

- モードで録画中は、拡大表示できません。



メモ

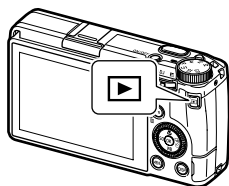
- 撮影直後に画像を表示する [クイックビュー] の表示と操作については、**C** 3 メニューで設定ができます。(p.130)

撮影した画像を確認する

撮影した画像を順に確認してみましょう。

1 を押す








再生モードになり、最新の画像が表示されます。(1 画像表示)



2 画像を確認する



以下の操作ができます。

 /フリック	前後の画像を表示
	消去 (p.99)
 右 /ピンチアウト	拡大表示
 左 /ピンチイン	(拡大表示中) 縮小
 /スライド	(拡大表示中) 拡大表示エリアを移動
ADJ 押す /ダブルタップ	C 3 メニュー [クイック拡大] で設定した倍率 [x4] [x8] [x16] [100%] に拡大 (p.130) (拡大表示中) 1 画像表示に戻る
ADJ 左右 / 	前後の画像を表示 (拡大表示中) 倍率を維持したまま前後の画像を表示
DISP	[標準情報表示] [詳細情報表示] [情報表示なし] 切り替え (拡大表示中) [標準情報表示] [情報表示なし] 切り替え
	再生機能選択画面を表示 (p.94)



メモ

- **C3** メニュー [測距位置拡大] を [オン] (初期設定) に設定すると、撮影時の測距点を中心に拡大表示します。
- 動画は拡大表示できません。
- タッチパネルのフリック操作で前後の画像に切り替えたときには、アニメーションが表示されます。**2** メニュー [再生アニメーション] で [オフ] に設定できます。

静止画を撮影する

露出モードを設定する

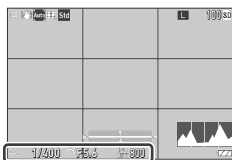
絞り値またはシャッター速度を設定して撮影します。それぞれ以下の値が設定できます。

露出モード	絞り値	シャッター速度	ISO 感度
P プログラム AE	△ *1	△ *1	○
Av 絞り優先 AE	○	自動設定	○
Tv シャッター優先 AE	自動設定	○	○
M マニュアル露出	○	○	○

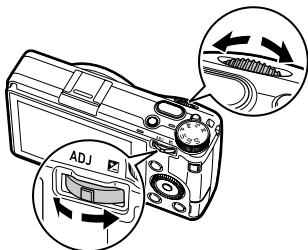
*1 プログラムシフトによって、絞り値とシャッター速度の組み合わせが変更可能

1 モードダイヤルを **P** / **Av** / **Tv** / **M** に合わせる



撮影画面に露出モードと設定対象の値が表示されます。



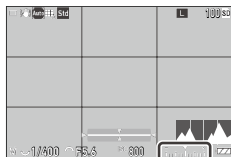
2 / **ADJ** を操作して値を変更する




以下の値が変更できます。

露出モード		ADJ 左右 ()
P	プログラムシフト	露出補正
Av	絞り値	露出補正
Tv	シャッター速度	露出補正
M	絞り値	シャッター速度

M モードでは、露出インジケーターが表示されます。露出インジケーターが中央にあるときに適正露出の目安です。また露出値が± 2 EV の範囲にあるときは、露出値に応じてインジケーターが変化します。その範囲を超えると、インジケーターが黄色になります。



ISO 感度を ISO AUTO に設定したときは、 で露出補正ができます。

3 撮影する



メモ

- ・ **C2** メニュー [連動外の自動補正] を [オン] に設定すると、**Av** / **Tv** モードで適正露出が得られないときに自動で補正します。
- ・ **SHUTTER** 半押しで AF が作動して AE ロックされます。AE ロックのみの行うようにする場合は、**C2** メニュー [シャッターボタン設定] を [AE ロック] に設定します。(p.128)



注意

- 撮影中は画像モニターに画像が表示されません。



AE ロック

- SHUTTER** 半押しで AE がロックされ、放すと解除されます。
- C2** メニュー [Fn ボタン設定] で [AF 作動 + AE ロック] [AE ロック] を設定して、**Fn** で AE ロックを行うこともできます。初期設定では、**Fn** に [AF 作動 + AE ロック] が設定されています。(p.126)

AF 作動 + AE ロック	フォーカスロックと同時に AE ロック ボタンを放すと AE ロック解除
AE ロック	C2 メニュー [Fn ボタン設定] の [AE ロック維持] を [オン] に設定すると、ボタンを放しても AE ロックを維持

- M** モードで ISO 感度を固定値で設定しているとき、またはシャッター速度を B / T / BT に設定しているときは、AE ロックはできません。



タッチパネルでの AF

- 初期設定では、タッチパネルで測距点の移動だけができます。タッチパネルで AF や撮影も行いたいときは、**C2** メニュー [タッチ AF] で設定します。



測距点移動	タッチしたところに測距点を移動
測距点移動 + AF	タッチしたところに測距点を移動し、AF を行う
測距点移動 + AF + 撮影	タッチしたところに測距点を移動し、AF を行って撮影
フルプレスナップ	フルプレスナップ撮影を行う
オフ	タッチ AF を行わない

■**AF** モードでタッチ AF が有効なときは、[測距点移動 + AF] で動作します。



プログラムライン-----

- **C2** メニュー [プログラムライン] で、**P** モードのプログラムラインを [開放優先] [深度優先 (深い)] に設定できます。



バルブ／タイム／バルブタイマー-----

- **M** モードで ISO 感度を固定値で設定しているときは、シャッター速度で **B** / **T** / **BT** が選択できます。



シャッター速度	動作
B バルブ	SHUTTER を押し続ける間に露光し、放すと露光が終了します。
T タイム	SHUTTER を押すと露光が開始し、もう一度押すと露光が終了します。
BT バルブタイマー	SHUTTER を押すと露光が開始し、設定した時間で露光が終了します。 ⌚ で露光時間を設定します。

- **B** / **T** は [ドライブモード] が [1 コマ撮影] [多重露出] のとき、**BT** は [1 コマ撮影] [多重露出] [インターバル撮影] [インターバル合成] のときに使用できます。
- **SHUTTER** の代わりに、別売りのケーブルスイッチ (CA-3) でも操作できます。カメラに付属の USB ケーブルを接続して使用してください。
- **C2** メニュー [Fn ボタン設定] の [M モードワンブッシュ AE] は動作しません。



プレビュー

- **C2**メニュー [Fn ボタン設定] の [動画 / 無線ボタン長押し] を [プレビュー] に設定すると、プレビューが確認できます。(p.126) を押し続けると、設定された絞り値まで絞りが動作して被写界深度が確認できます。 から指を放すと解除されます。
- [動画 / 無線ボタン長押し] が [無線 LAN 設定] (初期設定) に設定されているときは、 は無線 LAN のオン／オフのスイッチとして機能するため、プレビューはできません。
- プレビューの状態で、撮影や絞り値の変更はできません。
- フラッシュ使用時は、プレビューと絞り値の結果が異なることがあります。
- プレビューは被写界深度を確認する機能のため、AE が合わないことがあります。
- **M**モードでは使用できません。



M モードに関する機能

- **M**モード時の / **ADJ** の機能を、**C2**メニュー [M モードダイヤル設定] で入れ替えることができます。
- **C2**メニュー [Fn ボタン設定] (p.126) で [M モードワンプッシュ AE] を登録した場合は、ボタンを押したときに優先する値を選択できます。



プログラム AE	絞り値とシャッター速度の両方を調整
絞り優先 AE	絞り値を固定してシャッター速度を調整
シャッター優先 AE	シャッター速度を固定して絞り値を調整


ISO AUTO またはシャッター速度が B / T / BT のときは、[M モードワンプッシュ AE] は動作しません。

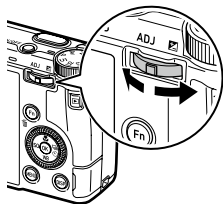
露出を補正する

1 **ADJ** () を左右に倒す

右に倒すと+、左に倒すと-になります。

M モードでは、 を回します。

1/3EV ステップで、 ± 5.0 ( モードは ± 2.0) の間で設定できます。






注意

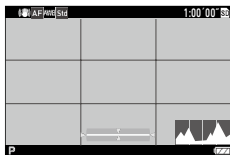
- **M** モードで ISO 感度を固定値に設定しているときは、露出補正はできません。

動画を撮影する

1 を押す

 モードになります。

 4 /  4 メニュー [静止画 / 動画切替]
で切り替えることもできます。



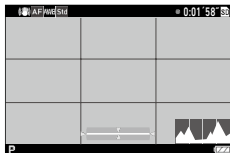
2 ピントを合わせる

[フォーカス] が [AF] のときは、**SHUTTER** を半押しします。

3 **SHUTTER** を全押する

録画が開始されます。

録画中は、記録時間が表示されます。





4 もう一度 **SHUTTER** を押す

録画が終了します。



注意

- ・  5 メニュー [音声記録] を [オン] (初期設定) に設定している場合、カメラの動作音なども録音されます。
- ・ 撮影中にカメラ内部が高温になると、強制終了する場合があります。
- ・  モードでは、以下の機能は使用できません。
 - ・ フラッシュ
 - ・ 無線 LAN



メモ

- 動画は、モードダイヤルの位置にかかわらず **P** モードで撮影されます。露出補正は可能です。
- **C2** メニュー [タッチ AF] が有効になっているときは、録画中也タッチパネルで AF ができます。
- 動画は最大 4GB、または最長 25 分まで連続して撮影できます。メモリーカードまたは内蔵メモリーがいっぱいになると、撮影は終了します。1 回あたりの撮影可能時間は、ご使用のメモリーカードによって異なります。(p.158) また撮影可能時間内でも、撮影が終了することがあります。
- 残り記録時間は、動画記録中にメモリーの残容量から再計算されるため、時間の変化が一定でないことがあります。
- 動画撮影時は、スピードクラスが Class6 以上のメモリーカードを使用してください。
- 十分に残量のあるバッテリー、または別売りの AC アダプター (D-AC166) のご使用をお勧めします。

動画を再生する

1 再生ボタンを押す

再生モードの1画像表示になります。

2 再生する動画を選択する

最初の1フレーム目が静止画で表示されます。

3 再生する



▲ / タップ	再生 / 一時停止
▼ / ダブルタップ	停止
⤿	音量調節 (0 ~ 20)
◀▶ / ⌂	(再生中) 早送り / 早戻し (一時停止中) コマ送り / コマ戻し
Fn	(一時停止中) 静止画を JPEG で保存
DISP	標準情報表示 / 情報表示なし切り替え



メモ















- 再生したときの最初の音量は、▶3 メニュー [再生音量] で設定できます。
- ▶2 メニュー [動画編集] で、動画の分割や切り出しができます。(p.111)

フォーカスを設定する

フォーカスモードを設定する

3

いろいろな写真を撮影する

 オートエリア AF	5 × 5 の測距エリアから測距し、適切な位置にピントを合わせます。[初期設定]
 セレクト AF	任意の 1 つの測距エリアを指定してピントを合わせます。(p.61)
 ピンポイント AF	[セレクト AF] より小さい任意のエリアにピントを合わせます。(p.61)
 追尾 AF	被写体を追尾してピントを合わせ続けます。(p.61)  を半押しすると、画像モニター中央の枠内の被写体が追尾対象として設定され、緑色のターゲットマークが表示されます。追尾対象が見つからないときは、枠が赤く表示されます。
 コンティニユアス AF	 を半押ししている間、ピントを合わせ続けます。(p.61)  1 メニュー [コンティニユアス AF 動作] で [フォーカス優先] [コマ速優先] が設定できます。
 MF	手動でピントを合わせます。(p.62)
 スナップ	設定した距離にピントを固定します。  1 メニュー [スナップ撮影距離] で距離を設定します。  を押しながら  を回すと、設定した距離が変更できます。
 ∞	無限遠にピントを固定します。遠くの風景などを撮影するときに使います。

1 1 / 1 メニュー [フォーカス] を選択し、▶ を押す

2 ▲▼ で選択する

モードは、[AF] [MF] [スナップ] [∞] から選択します。



3 OK を押す

4 MENU を押す

撮影画面にフォーカスモードのアイコンが表示されます。



いろいろな写真を撮影する



Fn

- **C** 2 メニュー [ADJ モード設定] [Fn ボタン設定] に登録できます。
(p.124、p.126)
[Fn ボタン設定] に [MF 切替] [スナップ切替] [追尾 AF 切替] を設定すると、ボタンの操作だけでフォーカスモードが切り替えられます。
- [オートエリア AF] [セレクト AF] [ピンポイント AF] 設定時は、人物の顔と瞳を自動で検出します。 1 メニュー [顔 / 瞳検出] で [オートエリア AF のみ] [オフ] に変更することができます。
- [オートエリア AF] [セレクト AF] [ピンポイント AF] 設定時は、必要に応じてカメラ前面の AF 補助光が発光します。 1 メニュー [AF 補助光] で [オフ] に設定することもできます。
- 1 / 1 メニュー [フォーカスアシスト] で [エッジ強調] [エッジ抽出] を設定すると、ピントが合った部分の輪郭が強調され、確認しやすくなります。
- 初期設定では **Fn** でも AF が作動します。このときの **Fn** の動作は **C** 2 メニュー [Fn ボタン設定] の [フォーカス設定] で設定ができます。(p.127)



注意

- ・C2メニュー [シャッターボタン設定] を [AE ロック] に設定した場合は、**SHUTTER** 半押しで AF は動作しません。(p.128)

測距点を指定して撮影する

1 1 メニュー [フォーカス] で [セレクト AF] [ピンポイント AF] [追尾 AF] [コンティニュアス AF] を選択する

2 撮影画面で **OK** を押す

測距点が移動できる状態になります。

3 **▲▼◀▶** で測距点を指定する

OK を長押しすると、測距点が中央に戻ります。



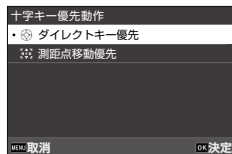
4 **OK** を押す

測距点が設定されます。



メモ

- ・C2メニュー [十字キー優先動作] を [測距点移動優先] に設定すると、**OK** を押さなくても **▲▼◀▶** で測距点の移動ができます。この場合は、ボタンの機能が以下ようになります。





OK	測距点を中央に戻す
OK 長押し	▲▼◀▶ の測距点移動とダイレクトキー機能 () の切り替え

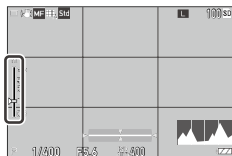
手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

オートフォーカスでピントが合わないときには、手動でピントを合わせます。

マニュアルフォーカスでは、撮影距離を固定して撮影できます。

- 1  1 /  1 メニュー [フォーカス] で [MF] を選択する
撮影画面にフォーカスバーが表示されます。



- 2 ▲ を押す
フォーカスバーに ▶ が表示されます。



- 3  でピントを合わせる距離を調整する



メモ

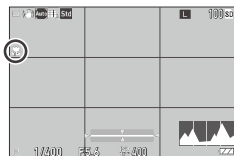
-  1 /  1 メニュー [MF 時の自動拡大表示] を [オン] に設定すると、撮影画面が自動で拡大表示されてフォーカスが合わせやすくなります。

接写する（マクロ）

レンズ先端から 12 ～ 24cm の範囲で AF を行います。

1 撮影モードで ▲（) を押す

マクロモードになり、撮影画面にマークが表示されます。



3



いろいろな写真を撮影する

2 撮影する

マクロモードを解除するときは、もう一度 ▲ を押します。





メモ

- ・  4 /  4 メニュー [マクロモード] で [オン] [オフ] を切り替えることもできます。
- ・ [フォーカス] が [スナップ] [∞] のときは、[セレクト AF] で動作します。



注意

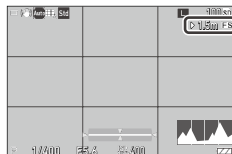
- ・ [フォーカス] が [MF] のときは、▲ を押すと、撮影距離の設定操作になります。(p.62) マクロモードにするときは、 4 /  4 メニュー [マクロモード] で設定してください。

シャッターボタンをいっきに押して撮影する（フルプレススナップ）

SHUTTER を半押しすると AF が動作しますが、**SHUTTER** をいっきに押し込んだときに、設定した距離で撮影する速写機能を「フルプレススナップ」といいます。📷1 / 📷1 メニュー [スナップ撮影距離] で設定した距離にピントを合わせて撮影します。

📷1 メニュー [フルプレススナップ] で設定します。

[オン] に設定すると、撮影画面にアイコンと撮影距離が表示されます。



オン	フルプレス時に、[スナップ撮影距離] で設定した距離にピントを合わせて撮影します。
オフ	通常の AF を行ってから撮影します。



注意

- 以下のときは、フルプレススナップはできません。
 - 📷モード
 - マクロモード
 - [フォーカス] の [MF] [スナップ] [∞]
 - [ドライブモード] の [セルフタイマー]



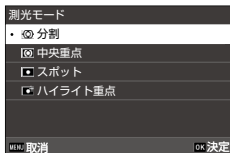
メモ





- [フルプレススナップ] が [オン] のときでも、**SHUTTER** を半押しすると [フォーカス] の設定でピントを合わせます。

露出を設定する

測光方法を選択する

●2 / ■2 メニュー [測光モード] で設定します。



	撮影範囲を分割して、総合的に判断します。 [顔 / 瞳検出] で顔または瞳が検出されているときは、顔に露出を合わせます。
	中央を重点的に測光します。
	狭い範囲を測光します。 一部の露出を測りたいときや、露出を合わせたい被写体が小さいときなどに利用します。
	撮影範囲を分割して測光し、明るい部分を重視した露出にします。



メモ

- C2 メニュー [ADJ モード設定] に登録できます。(p.124)
- ●2 メニュー [測距点と露出の関連付け] を [オン] に設定すると、[測光モード] と [フォーカス] が以下の組み合わせのときに、測光ポイントと AF エリア内の測距点が連動します。

測光モード	フォーカス
分割	[セレクト AF] [ピンポイント AF] [追尾 AF] [コンティニユアス AF]
スポット	[セレクト AF] [ピンポイント AF] [コンティニユアス AF] [顔 / 瞳検出] で顔または瞳が検出されているときは、顔に露出を合わせます。

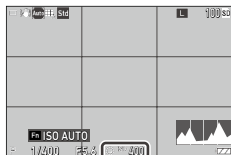
ISO 感度を設定する

1 ◀ (ISO) を押す

2 で値を変更する

ISO 100 ～ ISO 102400 で設定できます。

[Fn] を押すと、ISO AUTO に戻ります。もう一度 **[Fn]** を押すと、最後に設定した固定値に戻ります。



メモ

- **C** 2 メニュー [ADJ モード設定] に登録できます。(p.124)
- ISO 感度を高くすると、画質が粗くなる場合があります。
- ISO 感度によっては、**C** 6 メニュー [ダイナミックレンジ補正] の設定が無効になります。(p.87)
- **C** 2 メニュー [ISO 感度設定] で設定することもできます。その場合は、ISO AUTO の詳細設定ができます。

ISO感度設定	
ISO感度設定	AUTO
ISO感度オート上限値	6400 >
ISO感度オート下限値	100
低速限界値	1/40

ISO 感度 オート 上限値	ISO AUTO の最高感度を選択
ISO 感度 オート 下限値	ISO AUTO の最低感度を選択
低速限界値	ISO AUTO で感度がアップするときのシャッター 速度を選択

- **C** 2 メニュー [Fn ボタン設定] (p.126) で [ISO ボタン] の設定を変更しているときは、**C** 2 メニューで設定してください。

フラッシュを使用する

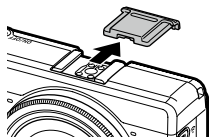
別売りのフラッシュを接続してフラッシュ撮影を行います。

以下のフラッシュが使用できます。

- PENTAX AF540FGZ / PENTAX AF540FGZ II
- PENTAX AF360FGZ / PENTAX AF360FGZ II
- PENTAX AF201FG

フラッシュを接続する

- 1 カメラに装着されているホットシューカバーを取り外す



- 2 カメラと外部フラッシュの電源がオフの状態、外部フラッシュをホットシューに取り付ける

- 3 外部フラッシュとカメラの電源をオンにする



注意





- 外部フラッシュをカメラから取り外すときは、外部フラッシュの電源を切ってから取り外してください。
- 外部フラッシュがカメラに認識されないときは、外部フラッシュとカメラの電源をオフにして、外部フラッシュを接続し直してください。




その他の外部フラッシュを使用する

- 信号端子は X 接点のみで極性が +、電圧が 20V 以下のものを使用してください。
- フラッシュモードは設定できません。常に[強制発光]で動作します。
- フラッシュの設定にかかわらず、ホットシューの X 接点にフラッシュ発光信号が出力されます。
- 撮影レンズの画角をカバーする照射角を持つ外部フラッシュを使用してください。

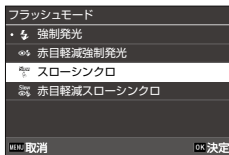
フラッシュモードを設定する

 強制発光	常にフラッシュを発光します。[初期設定]
 赤目軽減強制発光	赤目現象を軽減しながら強制発光します。
 スローシンクロ	シャッター速度を遅くして発光します。人物を入れた夜景の撮影に適します。手ぶれが起こりやすいので、三脚の使用をお勧めします。
 赤目軽減スローシンクロ	赤目現象を軽減しながらスローシンクロ発光します。

1  2 メニュー [フラッシュモード] を選択し、▶ を押す

2 [フラッシュモード] を選択し、▶ を押す

3 ▲▼ でフラッシュモードを選択し、**OK** を押す



4 光量を補正するときは [フラッシュ光量補正] を選択し、▶ を押す

5 補正値を選択し、**OK** を押す
-2.0 ~ +1.0 で設定できます。



6 **MENU** を 2 回押す



注意

- ・ **Tv** / **M** モードでは、[スローシンクロ] [赤目軽減スローシンクロ] は選択できません。

ノイズを低減する

長秒時ノイズ低減

シャッター速度を長く設定すると、画像にノイズが発生しやすくなります。☑6 メニュー [ノイズリダクション] の [長秒時ノイズ低減] を設定すると、ノイズ低減処理が行われます。



オート	シャッター速度・ISO 感度・カメラ内部温度を判断してノイズリダクションを行います。
オン	シャッター速度が1秒以上のときにノイズリダクションを行います。
オフ	ノイズリダクションを行いません。

[長秒時ノイズ低減] の処理中は、ステータスランプが点滅します。

高感度ノイズ低減

ISO 感度が高感度のときのノイズを低減することができます。

- 1 ☑6 メニュー [ノイズリダクション] の [高感度ノイズ低減] を選択し、▶ を押す
[高感度ノイズ低減] 画面が表示されます。

- 2 ▲▼ で選択し、OK を押す



オート	ISO 感度に応じて自動的にノイズリダクションを行います。
弱／中／強	弱／中／強のノイズリダクションを行います。
カスタム	ISO 感度別に強度を設定できます。
オフ	ノイズリダクションを行いません。

〔ノイズリダクション〕画面に戻ります。

〔カスタム〕を選択した場合は、次の手順に進みます。

それ以外を選択した場合は、手順 5 に進みます。

3

3 [カスタム時の動作] を選択し、▶ を押す

ISO 感度を選択する画面が表示されます。

4 ▲▼ で ISO 感度を選択し、◀▶ で強度を選択する



5 [OK] を押す

6 [MENU] を 2 回押す

! 注意

- ・ノイズリダクションを設定すると、画像の記録に時間がかかることがあります。

いろいろな写真を撮影する










ホワイトバランスを設定する





ホワイトバランスを設定して、白い被写体がどのような光の下でも白く写るように調整します。

単一色の被写体や、複数の光源下にある被写体を撮影する場合などにホワイトバランスが思いどおりに表現できないときは、設定を変更します。

3

いろいろな写真を撮影する

 オート WB	自動的に調整します。
 マルチパターン オート	太陽光やフラッシュなど、光源が混在する場合でも、分割した領域ごとの光源に合わせて、カメラが自動的に最適なホワイトバランスを調整します。 ■ モードでは、選択できません。
 太陽光	晴天の屋外での撮影時に使用します。
 日陰	日陰での撮影時に使用します。
 曇天	曇天での撮影時に使用します。
 昼光色蛍光灯	昼光色蛍光灯での撮影時に使用します。
 昼白色蛍光灯	昼白色蛍光灯での撮影時に使用します。
 白色蛍光灯	白色蛍光灯での撮影時に使用します。
 電球色蛍光灯	電球色蛍光灯での撮影時に使用します。

 白熱灯	白熱灯での撮影時に使用します。
 CTE	光源の色を誇張し、被写体の色みを残すように撮影します。 画像の多くを占める色を強調したいときに使用します。
 マニュアル WB	手動で設定します。(p.75)
 色温度	色温度を 2500 ～ 10000K で指定します。(p.76)

1 撮影モードで **WB** (▼) を押す

[ホワイトバランス] 画面が表示されます。

2 ▲▼ で設定を選択する

補正が必要ない場合は、手順 6 に進みます。

[マニュアル WB] は p.75、[色温度] は p.76 を参照してください。



3 **Fn** を押す

4 ▲▼◀▶ で色みを微調整する

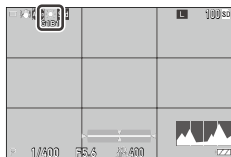


5 **OK** を押す

手順 2 の画面に戻ります。

6 OK を押す

撮影画面にホワイトバランスのアイコンが表示されます。



3

いろいろな写真を撮影する



メモ

- **カメラ3 / 設定3** メニュー [ホワイトバランス] で設定することもできます。
- [ドライブモード] の [多重露出] (p.80) で [合成方法] を [平均] に設定している場合は、[マルチパターンオート] に設定していても [オート WB] で動作します。
- 光源を指定したときに自動で調整を行うときは、**カメラ3 / 設定3** メニュー [光源指定時の自動調整] を [オン] に設定します。
- [オート WB] のときの白熱灯の色みを、**カメラ3 / 設定3** メニュー [白熱灯下のオート WB] で設定できます。



注意

- 被写体に白色系の部分が少ないと、ホワイトバランスが合わないことがあります。
- フラッシュを使用して撮影するときは、[オート WB] [マルチパターンオート] [マニュアル WB] に設定してください。それ以外の設定では、ホワイトバランスが合わないことがあります。

ホワイトバランスを手動で設定する

- 1 p.73 の手順 2 で [マニュアル WB] を選択する
- 2 撮影する照明の下で、紙などの白い被写体にカメラを向ける
- 3 **DISP** を押す
ホワイトバランス調整用の画像が撮影されます。
- 4 **▲▼◀▶** でポイントを調整する
- 5 **OK** を押す
[ホワイトバランス] 画面に戻ります。
- 6 **OK** を押す
撮影画面に戻ります。



3

いろいろな写真を撮影する

色温度で設定する

- 1** p.73 の手順 2 で [色温度] を選択し、▶ を押す
[色温度] 画面が表示されます。

- 2** ▲▼ で値を設定する
2500 ～ 10000K で 10K 単位で設定できます。
DISP を押すと、色みの微調整ができます。



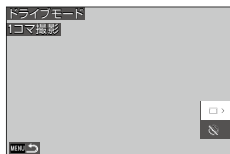
- 3** OK を押す
[ホワイトバランス] 画面に戻ります。

- 4** OK を押す
撮影画面に戻ります。

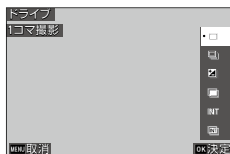
ドライブモードを設定する





- 1 撮影モードで  (▶) を押す
[ドライブモード] 画面が表示されます。


- 2 ▶ を押す
[ドライブ] 画面が表示されます。
[セルフタイマー] は、p.86 を参照してください。



- 3 ▲▼ でドライブモードを選択する

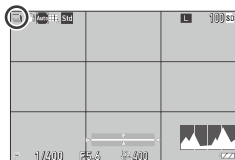


 1 コマ撮影	通常の 1 枚ずつの撮影です。	—
 連続撮影	SHUTTER を押している間、連続して撮影します。	p.82
 ブラケット撮影	1 回の撮影で、露出を変化させた画像を 3 枚保存します。	p.79
 多重露出	画像を合成しながら撮影します。	p.80
INT インターバル撮影	一定の間隔で自動撮影します。	p.82

 インターバル合成	連続撮影した画像の、明るい部分を残すように合成します。定位置の夜景撮影で、星や月の光跡を記録したいときなどに使用します。	p.84
--	--	------

4 OK を押す

撮影画面にドライブモードのアイコンが表示されます。



メモ

- カメラメニュー [ドライブモード] で設定することもできます。

連続して撮影する（連続撮影）

1 p.77 の手順 3 で [連続撮影] を選択する

2 撮影画面で **SHUTTER** を押し続ける

SHUTTER を押している間、連続して撮影されます。

露出を変化させて撮影する（ブラケット撮影）

- 1 p.77 の手順 3 で [ブラケット撮影] を選択し、**Fn** を押す
詳細設定画面が表示されます。



- 2 ▲▼◀▶ で設定を変更する



振り幅設定	露出を変化させる幅を ± 0.3 ~ 5.0 から選択します。
ブラケット撮影順	3 枚の撮影順を [0 - +] [- 0 +] [+ 0 -] [0 + -] から選択します。

3

いろいろな写真を撮影する

- 3 **MENU** を押す
[ドライブ] 画面に戻ります。

- 4 **OK** を押す
撮影画面に戻ります。

- 5 **SHUTTER** を押す
1 回のレリーズで、指定した順に 3 枚の画像が保存されます。



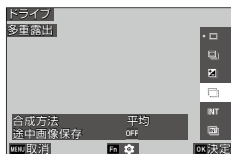
メモ

- ・フラッシュ使用時は、フラッシュ光量を変化させて撮影されます。

画像を合成しながら撮影する（多重露出）

- 1** p.77 の手順 3 で [多重露出] を選択し、**[Fn]** を押す

詳細設定画面が表示されます。



- 2** ▲▼◀▶ で設定を変更する



合成方法	[平均]：露光量を平均して合成します。 [加算]：露光量を加算して合成します。 [比較明]：1 枚目の画像と比較して明るい部分だけを置き換えて合成します。
途中画像保存	合成前の各画像や途中の合成画像を保存するかどうか指定します。 途中の画像は JPEG 形式で保存されます。

- 3** **[MENU]** を押す

[ドライブ] 画面に戻ります。

- 4** **[OK]** を押す

撮影画面に戻ります。

- 5** 1 枚目の画像を撮影する

- 6** 次の画像を撮影するときは「次の撮影へ」を選択し、**OK** を押す
撮影をやり直す場合は、「撮り直し」を選択します。



7 次の画像を撮影する

手順 6 ～ 7 を繰り返します。

1 つ前の合成画像に戻るときは「撮り直し」を選択します。

8 撮影を終了するときには「完了」を選択する

合成された画像が保存されます。



注意

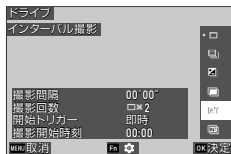
多重露出の撮影中は、以下の機能は変更できません。

- **3** メニュー [ホワイトバランス]
- **4** メニュー [ドライブモード]
- **5** メニュー [記録形式] [アスペクト比] [クロップ] [JPEG 記録サイズ]
- **6** メニュー [イメージコントロール]

一定間隔で自動撮影する（インターバル撮影）

設定した間隔で、自動的に撮影します。

- 1 p.77 の手順 3 で [インターバル撮影] を選択し、**Fn** を押す
詳細設定画面が表示されます。



- 2 ▲▼◀▶ で設定を変更する



撮影間隔	撮影の間隔を最短～60分で指定します。
撮影回数	撮影する枚数を [∞] [2]～[99] で指定します。
開始トリガー	1枚目をすぐに撮影するか、指定した時刻に撮影するか指定します。
撮影開始時刻	[開始トリガー] が [時刻指定] のときの時刻を指定します。

- 3 **MENU** を押す
[ドライブ] 画面に戻ります。


- 4 **OK** を押す
撮影画面に戻ります。

- 5 **SHUTTER** を押す
[開始トリガー] が [即時] の場合は、1枚目が撮影されます。[時刻指定] の場合は、設定した時刻から撮影が開始されます。
途中で撮影を終了するときは、**OK** を押します。

**注意**

- 撮影の設定によっては、次の撮影が可能になるまでの時間がインターバル撮影の設定時間よりも長くなることがあります。
- 時間間隔が短い場合は、1枚目の露出で2枚目以降も撮影されることがあります。
- 露出モードを変更したり、電源をオフにすると、インターバル撮影は終了します。

**メモ**

- 1回のインターバル撮影ごとに、新しいフォルダーが作成されて画像が保存されます。
-  1メニュー〔フォーカス〕(p.59)が〔MF〕〔スナップ〕〔∞〕に設定されている場合にフルプレススナップで撮影されたときは、1枚目のフォーカス位置で固定されます。
- 十分に残量のあるバッテリーまたは別売りのACアダプター(D-AC166)のご使用をお勧めします。

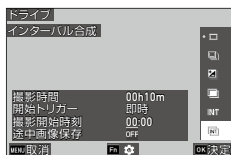
星の光跡などを記録する（インターバル合成）

1 カメラを三脚に固定し、試し撮りを行う

露出やフォーカスモード、ホワイトバランスを設定し、構図を確認します。この露出設定で合成されます。

2 p.77 の手順 3 で「インターバル合成」を選択し、Fn を押す

詳細設定画面が表示されます。



3 ▲▼◀▶ で設定を変更する



撮影時間	撮影する時間を [∞]、10 分～ 24 時間で指定します。
開始トリガー	1 枚目をすぐに撮影するか、指定した時刻に撮影するか指定します。
撮影開始時刻	[開始トリガー] が [時刻指定] のときの時刻を指定します。
途中画像保存	合成前の各画像や途中の合成画像を保存するかどうか指定します。 途中の画像は JPEG 形式で保存されます。

4 MENU を押す

「ドライブ」画面に戻ります。

5 OK を押す

撮影画面に戻ります。

6 1 枚目の画像を撮影する

最短の間隔で連続撮影されます。

合成中の画像を確認するときは、**SHUTTER** を半押しします。

SHUTTER を全押しすると、インターバル合成を継続したままその時点の合成画像を保存し、新たに合成を開始します。

途中で撮影を終了するときは、**OK** を押します。



注意

- ・露光中に **OK** または **SHUTTER** を全押ししたときは、その画像は合成されません。
- ・露出モードを変更したり、電源をオフにすると、インターバル撮影は終了します。
- ・2 枚目以降の撮影時は、AF は動作しません。
- ・ 6 メニュー [ノイズリダクション] の [長秒時ノイズ低減]、 7 メニュー [Shake Reduction] は [オフ] 固定です。

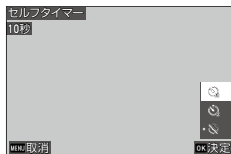


メモ

- ・[途中画像保存] を保存する設定にした場合、1 回のインターバル合成ごとに新しいフォルダーが作成されて画像が保存されます。
- ・以下の設定は、1 枚目撮影時の値で固定されます。
 - ・ISO AUTO 時の ISO 感度・シャッター速度・絞り値
 - ・ホワイトバランス [オート WB] 時のホワイトバランス値
- ・暗い場所での撮影は、別売りの外部ファインダー (GV-3) を使用すると便利です。

セルフタイマーを使用する

[連続撮影] 以外のドライブモードでは、[セルフタイマー] を併用することができます。
[10 秒] [2 秒] が選択できます。
セルフタイマーのカウントダウン中は、AF 補助光が点滅します。



3



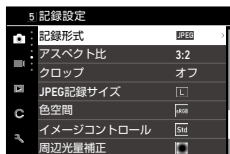
メモ

- ・ [インターバル撮影] [インターバル合成] では、1 枚目の撮影時のみセルフタイマーが動作します。[開始トリガー] が [時刻指定] に設定されているときは、セルフタイマーは無効です。
- ・ カウントダウン時に AF 補助光が点滅しないように設定することもできます。(p.132)

記録方法を設定する

静止画の記録設定

📷 5 メニュー [記録設定] で、静止画の形式を設定します。



記録形式	[JPEG] [RAW] : RAW 画像 (DNG 形式) を記録 [RAW+JPEG] : RAW 画像と JPEG 画像を同時に記録
アスペクト比	[3:2] [1:1]
クロップ	[50mm] [71mm] [オフ]
JPEG 記録サイズ	[L] [M] [S] [XS]
色空間	[sRGB] [AdobeRGB]



メモ

- [アスペクト比] が [1:1] のときは、画像モニターの左右が黒く表示されます。
- **C** 2 メニュー [ADJ モード設定] [Fn ボタン設定] に登録できます。
(p.124、p.126)
[Fn ボタン設定] に [JPEG → RAW] [JPEG → RAW+] を設定すると、簡単に記録形式が切り替えられます。



RAWでの撮影

- RAW 画像は **2** メニュー [RAW 現像] で JPEG 形式に変換できます。(p.103)
 - RAW 画像には、以下の機能は反映できません。**2** メニュー [RAW 現像] で JPEG 形式に変換するときに反映できます。
 - イメージコントロール
 - シャドー補正
- [RAW+JPEG] に設定したときは、上記の機能が JPEG 画像だけに反映されます。



クロップ

- [クロップ] を [50mm] [71mm] に設定すると、35 ミリ判換算の画角が通常の 40mm から 50mm または 71mm になり、画面の表示も変更されます。
- [クロップ] を設定したときは、[JPEG 記録サイズ] に制限があります。

クロップ	JPEG 記録サイズ
50mm	[L] 設定時：[M] で記録
71mm	[L] [M] 設定時：[S] で記録

動画の記録設定

5 メニュー [記録設定] で、動画の形式を設定します。



フレームレート	[60p] [30p] [24p]
音声記録	[オン] [オフ]

画像仕上げと補正の設定

ND フィルターを利用する

●2 / ■4 メニュー [ND フィルター] で、カメラに内蔵されている ND フィルターを常時使用するかどうかを設定します。



オート	状況に応じてカメラがオン/オフを判断します。SHUTTER 半押しで撮影画面にアイコンが表示されたときに、ND フィルターが使用されます。 ■4 モードでは、選択できません。
オン	常に ND フィルターを使用します。撮影画面にアイコンが表示されます。
オフ	ND フィルターを使用しません。



メモ

- 2 メニュー [Fn ボタン設定] に登録できます。(p.126)

モアレを低減させる (ローパスセクター)

●4 メニュー [ローパスセクター] で、ローパスフィルターのようなモアレ低減効果を得ることができます。
[強] [弱] [オフ] が選択できます。














注意

- シャッター速度が高速のときやフラッシュ撮影時は、十分な効果が得られないことがあります。

写真の雰囲気を決めて撮影する（イメージコントロール）

彩度やコントラストなどを変更した画像が撮影できます。

色調などを変更して、特徴的な画像を撮影します。

	通常の画質です。
スタンダード	
	メリハリのある色鮮やかな仕上がりで撮影します。
ビビッド	
	白黒で撮影します。
モノトーン	
	やわらかい印象の白黒画像を撮影します。
ソフトモノトーン	■モードでは、選択できません。
	硬い印象の白黒画像を撮影します。
ハードモノトーン	
	コントラストを強調した白黒画像を撮影します。超高感度フィルムを使用したり増感現像したようなざらついた印象の画像を撮影します。
ハイコントラスト 白黒	
	ポジフィルムで撮影したような彩度の高い画像を撮影します。
ポジフィルム調	
	彩度を低くし、コントラストを高めにした画像を撮影します。
ブリーチバイパス	
	古い写真のような画像を撮影します。
レトロ	
	細かなコントラストを強調して絵画的な印象に仕上げます。
HDR 調	■モードでは、選択できません。
	色合いやコントラストを変化させて、クロス現像をしたような画像を撮影します。
クロスプロセス	



カスタム 1
カスタム 2

2 種類の設定を登録できます。

1 6 / 6 メニュー [イメージコントロール] を選択し、▶を押す

[イメージコントロール] 画面が表示されます。

2 ▲▼でイメージを選択する

パラメーターを変更しない場合は、手順 6 に進みます。



3 を押す

詳細設定画面が表示されます。

4 ▲▼◀▶で設定を変更する

選択したイメージによって、設定できるパラメーターが異なります。



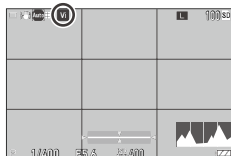
5 を押す

手順 2 の画面に戻ります。

6 を押す

7 を押す

撮影画面にマークが表示されます。



3

いろいろな写真を撮影する



注意

- RAW 画像に [イメージコントロール] は反映されません。▶ 2 メニュー [RAW 現像] を実行したときに設定できます。(p.103)



メモ

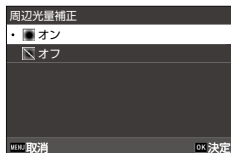
- C 2 メニュー [ADJ モード設定] [Fn ボタン設定] に登録できます。(p.124、p.126)

3

いろいろな写真を撮影する

周辺光量を補正する

📷6 / 📷6 メニュー [周辺光量補正] で、レンズ特性によって生じる周辺光量の低下を補正します。



階調を補正する (ダイナミックレンジ補正)

📷6 / 📷6 メニュー [ダイナミックレンジ補正] で、画像の階調を広げて明るい部分から暗い部分まで表現できるようにします。



ハイライト補正

[オート] [オン] [オフ] が選択できます。
■モードでは、[オン] は選択できません。



シャドー補正

[オート] [弱] [中] [強] [オフ] が選択できます。





注意

- [シャドー補正] を [強] に設定すると、画像のノイズが目立つ場合があります。
- ISO 感度を ISO 200 未満に設定したときは、ハイライト補正は動作しません。


手ぶれを補正する

手ぶれを自動的に補正するときは、以下の機能を設定します。
初期設定は、どちらも「オン」に設定されています。


静止画モード	 7 メニュー [Shake Reduction]
動画モード	 7 メニュー [Movie SR]



メモ

- **C** 2 メニュー [Fn ボタン設定] に、[Shake Reduction] を設定すると、ボタンの操作だけで「オン」「オフ」が切り替えられます。(p.126)
- [ドライブモード] で [セルフタイマー] を設定しているときは、[Shake Reduction] が自動的に「オフ」になります。「オン」のままにする場合は、 7 メニュー [SR の自動オフ] を「自動オフしない」に設定します。

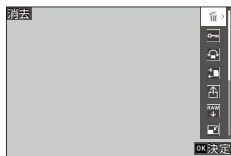
傾きを補正する

電子水準器が検知した水平方向の傾きを補正して撮影します。
 7 メニュー [自動水平補正] で設定します。

再生機能を選択する

再生に関する機能は **▶** メニュー、または再生機能選択画面から設定します。

再生モードのときに **□** を押すと、再生機能選択画面が表示されます。再生機能選択画面では、**▶** 1 / **▶** 2 メニューの内容が設定できます。



注意

- 表示している画像が、再生機能に対応していない場合は、その機能は実行できません。

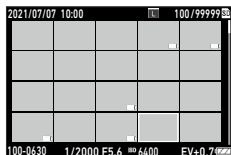
再生方法を変更する

複数画像を表示する





複数の画像を一覧表示します。

1 再生モードの1画像表示で を左に1回回す

複数画像が表示されます。



以下の操作ができます。

	選択枠を移動
	20 画像表示 / 48 画像表示切り替え
	選択消去
	再生機能選択画面を表示

2 を押す

選択した画像が1画像表示になります。



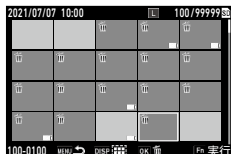
メモ

- 撮影日時の順に画像が再生されます。▶3メニュー [再生順序設定] で [ファイル番号] に変更することもできます。
- 複数画像を表示しているときに ▶1メニュー [消去] [プロテクト] [転送] を選択すると、複数の画像をまとめて指定することができます。

選択して消去する

1 「複数画像を表示する」(p.95) の手順 1 の画面で **🗑️** を押す

2 消去画像を選択する



▲▼◀▶	選択枠を移動
OK	画像を選択／解除
DISP	選択範囲の始点／終点を指定

3 **Fn** を押す

消去の確認画面が表示されます。

4 **[実行]** を選択し、**OK** を押す

選択した画像が消去されます。



メモ

- ・プロテクトされている画像は選択できません。
- ・複数画像の選択方法は、以下のときも同様です。
 - ・プロテクト (p.100)
 - ・転送 (p.102)

「複数画像を表示する」(p.95) の手順 1 で **▶** メニューまたは再生機能選択画面を表示し、機能を選択します。

画像を回転して表示する

画像の回転情報を変更します。

1 **▶** 1 メニューまたは再生機能選択画面で「回転」を選択し、
▶ を押す

2 回転方向を選択し、**OK** を押す



4

いろいろな再生と編集



メモ-----

- 再生モードでは、カメラの向きに合わせて、画像が回転して表示されます。**▶** 3 メニュー「画像の自動回転」を「オフ」に設定したときは、「回転」の指定にかかわらず、一定の向きで表示されます。



注意-----

- メモリーカードがプロテクトされているとき、または以下の画像は、回転方向を変更できません。
 - 動画
 - プロテクトされた画像

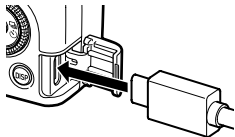
AV 機器と接続する

テレビなどと接続し、撮影時にライブビュー画像を表示したり、画像の再生ができます。

接続する機器に合わせて、市販の変換ケーブルを用意してください。

1 AV 機器とカメラの電源を切る

2 カメラの端子カバーを開けて、USB 端子に変換ケーブルを接続する



3 変換ケーブルのもう一方の端子を AV 機器の映像入力端子に接続する

詳しくは AV 機器の説明書を参照してください。

4 AV 機器とカメラの電源をオンにする



注意

- AV 機器と接続しているときは、画像モニターは表示されません。
- 動画の音声は AV 機器から出力されます。音量調整は AV 機器で行ってください。



メモ

- 本機の USB 端子（USB Type-C）は、DisplayPort に対応しています。
- HDMI® で出力したい場合は、USB Type-C - HDMI® 変換アダプターなどをご利用ください。一部の HDMI® 変換アダプターは、使用できない場合があります。

ファイルを整理する

消去する

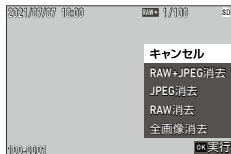
1 **1** メニューまたは再生機能選択画面で「消去」を選択する

2 「1 画像消去」「全画像消去」を選択する

「1 画像消去」のときは、◀▶で画像を変更します。

「記録形式」が「RAW+JPEG」で撮影された画像の場合は、消去するファイル形式を選択できます。

「全画像消去」を選択したときは、消去するファイル形式は選択できません。



3 **OK** を押す

画像が消去されます。

他の画像も消去する場合は、手順2～3を繰り返します。

終了する場合は「キャンセル」を選択します。

4

いろいろな再生と編集

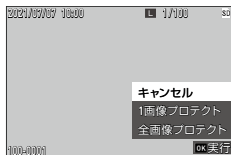
プロテクトを設定する

画像を誤って削除しないように保護（プロテクト）します。

1 **1** メニューまたは再生機能選択画面で【プロテクト】を選択する

2 【1 画像プロテクト】【全画像プロテクト】を選択する

【1 画像プロテクト】のときは、◀▶ で画像を変更します。



3 **OK** を押す

【1 画像プロテクト】を選択したときは、選択した画像にプロテクトが設定されます。

他の画像もプロテクトする場合は、手順2～3を繰り返します。

【全画像プロテクト】を選択したときは、【プロテクト】または【解除】を選択します。全画像にプロテクトまたはプロテクト解除が設定されます。



メモ -----

- ・プロテクトを解除するときは、再度【プロテクト】を設定します。





注意 -----


- ・**1** メニュー【フォーマット】を行うと、プロテクトされた画像も削除されます。

内蔵メモリーの画像をカードへコピーする


内蔵メモリーに記録した全画像をメモリーカードへコピーします。

1 メモリーカードをセットする

2  1 メニューまたは再生機能選択画面で [コピー] を選択し、
 を押す

3 [実行] を選択し、 を押す

新規フォルダーに内蔵メモリーの画像が保存されます。

 **注意** -----

- ・コピー先のメモリーカードの容量が足りない場合は、容量不足を示すメッセージが表示されます。
- ・メモリーカードから内蔵メモリーへコピーすることはできません。

画像を転送する

通信端末に転送する画像を選択して、転送予約を設定します。カメラと通信端末が無線 LAN で接続されると、転送が開始されます。

1 1 メニューまたは再生機能選択画面で [転送] を選択する

2 [1 画像転送] を選択する

◀▶ で画像を変更できます。

[記録形式] が [RAW+JPEG] で撮影された画像の場合は、転送するファイル形式が選択できます。



3 OK を押す

画像に転送予約が設定されます。

他の画像も転送予約する場合は、手順 2 ～ 3 を繰り返します。



メモ

- ・転送予約を解除するときは、再度 [転送] を設定します。
- ・通信端末との接続については、「通信端末で利用する」(p.114) を参照してください。

画像を加工・編集する

撮影した画像を加工・編集して、新規に保存します。



注意

- 加工・編集ができるのは、本力カメラで撮影した JPEG 画像のみです。
（[RAW 現像] は RAW 画像のみ）動画から保存した静止画は加工・編集できません。また加工・編集を繰り返し実行すると、画質が劣化します。

RAW 画像を現像する

RAW 画像を JPEG 形式に変換して新規保存します。ホワイトバランスやイメージコントロールなどを設定して保存できます。

1

□ モードで RAW 画像を表示する

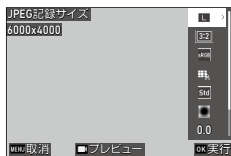
2

□ 2 メニューまたは再生機能選択画面で [RAW 現像] を選択し、**OK** を押す

[RAW 現像] 画面が表示されます。

3

▲▼ でパラメーターを選択する





以下の設定ができます。

- JPEG 記録サイズ
- アスペクト比
- 色空間
- ホワイトバランス
- イメージコントロール
- 周辺光量補正
- 増減感
- 高感度ノイズ低減
- シャドー補正

撮影時の設定が、最初に選択されています。

変更できる設定のみ選択できます。

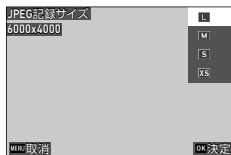
	プレビューを表示
	(プレビュー中) 拡大表示

4 ▶ を押す

詳細設定画面が表示されます。

5 ▲▼ で設定を選択する

〔ホワイトバランス〕〔イメージコントロール〕は、**[Fn]** を押すと、詳細設定画面が表示されます。



6 **[OK]** を押す

パラメーター選択画面に戻ります。

7 すべての設定が終わったら **[OK]** を押す


JPEG 画像が新規保存されます。

8 〔継続〕〔終了〕を選択し、**[OK]** を押す

〔継続〕を選択した場合は、手順 3 の画面に戻ります。



注意

- ・撮影時に  5 メニュー〔アスペクト比〕を変更している場合は、〔RAW 現像〕でアスペクト比を指定することはできません。

画像サイズを変更する

サイズを小さくする（リサイズ）

▶2 メニュー [リサイズ] で、JPEG 画像を縮小します。撮影時の [JPEG 記録サイズ] よりも小さいサイズが選択できます。



トリミングする

JPEG 画像の一部を切り取って保存します。

1 ▶2 メニューまたは再生機能選択画面で [トリミング] を選択し、▶を押す

2 トリミングする範囲を指定する



▲▼◀▶	トリミング枠を移動
ADJ 押す	トリミング枠のアスペクト比（16:9、3:2、4:3、1:1）を変更
DISP	⌚ 操作をトリミングサイズ変更／画像回転に切り替え
⌚	トリミングサイズを変更、またはトリミング枠を 0.1° 回転
Fn	トリミング枠を 90° 回転
🖼️	プレビューを表示
⌚	（プレビュー中）拡大表示

3 OK を押す

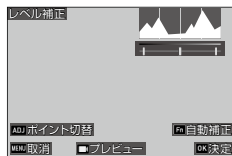
トリミングされた画像が新規保存されます。

ハイライト・シャドーを補正する（レベル補正）

JPEG 画像のハイライト・中間調・シャドーを指定し、明るさやコントラストを補正します。

- 1 **2** メニューまたは再生機能選択画面で「レベル補正」を選択し、**▶** を押す
「レベル補正」画面が表示されます。

2 値を調整する



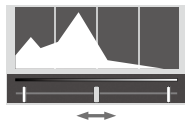
ADJ. 押す	調整ポイントの切り替え
◀▶ / ADJ. 左右	値を調整
Fn	自動補正
🖼️	プレビューを表示
🔍	(プレビュー中) 拡大表示

- 3 **OK** を押す
画像が新規保存されます。

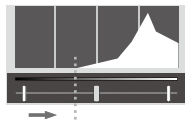


補正のしかた

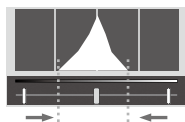
- 中央のポイントを左右に動かすと全体的な明るさが調整できます。左に動かすと明るく、右に動かすと暗くなります。



- 露出オーバーの場合は、左側のポイントを右に移動し、ヒストグラムの山の端に合わせます。露出アンダーの場合は、右側のポイントを左に移動します。



- ヒストグラムの山が中央に集中していてコントラストが低いときは、左右のポイントをそれぞれヒストグラムの山の端に合わせます。



ホワイトバランスを補正する

JPEG 画像のホワイトバランスを補正します。

- 1 **2** メニューまたは再生機能選択画面で「ホワイトバランス補正」を選択し、**▶** を押す

「ホワイトバランス補正」画面が表示されます。

- 2 値を調整する



▲▼◀▶	調整ポイントを移動
🖼️	プレビューを表示
🔍	(プレビュー中) 拡大表示

- 3 **OK** を押す

画像が新規保存されます。

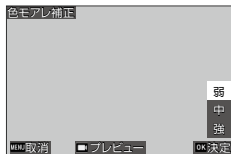
色モアレを補正する

色モアレが発生した画像を補正します。

- 1** **▶2** メニューまたは再生機能選択画面で「色モアレ補正」を選択し、**▶** を押す

「色モアレ補正」画面が表示されます。

2 値を調整する



▲▼	強度を選択
🖼️	プレビューを表示
🔍	(プレビュー中) 拡大表示

3 **OK** を押す

画像が新規保存されます。



注意

- ・画像によっては正しく補正されない場合があります。
- ・「色モアレ補正」を実行すると、色抜けや色にじみが発生する場合があります。

画質を調整する

JPEG 画像の画質を調整します。

- 1** **▶2** メニューまたは再生機能選択画面で [JPEG 画質調整] を選択し、**▶** を押す

[JPEG 画質調整] 画面が表示されます。

- 2** **Fn** で通常編集とモノトーン編集を切り替える

- 3** 値を調整する



▲▼	通常編集: [明るさ] [彩度] [色相] [コントラスト] [シャープネス] を選択 モノトーン編集: [明るさ] [フィルター効果] [調色] [コントラスト] [シャープネス] を選択
◀▶	値設定 (± 4)
🖼️	プレビューを表示
🔍	(プレビュー中) 拡大表示

- 4** **OK** を押す

画像が新規保存されます。

動画を編集する

動画を切り出しまたは分割して新規保存します。

- 1** **▶** 2メニューまたは再生機能選択画面で[動画編集]を選択し、**▶**を押す

[動画編集] 画面が表示されます。

- 2** [切出し] [分割] を選択し、**OK** を押す







切出し	始点と終点を指定し、その範囲を切り出して新規保存
分割	分割点を指定し、その前後で分割した2つの動画を新規保存

- 3** ポイントを指定する

動画再生時と同様に、再生や一時停止等ができます。



それ以外に以下の操作ができます。

 ADJ 押す	[切出し]：始点／終点を切り替え
	[切出し]：始点／終点を移動 [分割]：分割点を移動
 Fn	[切出し]：再生位置に始点／終点を移動 [分割]：再生位置に分割点を移動
	プレビューを表示

4 **OK** を押す

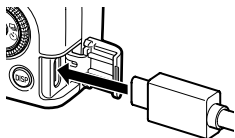
動画が新規保存されます。

パソコンで利用する

付属の USB ケーブルを使用してパソコンと接続します。

1 カメラの電源をオフにする

2 カメラの端子カバーを開き、USB 端子に USB ケーブルを接続する



3 USB ケーブルをパソコンの USB ポートに接続する

カメラの電源がオンになり、再生モードになります。

カメラはデバイスとしてパソコンに認識されます。

メモリーカードがセットされているときはメモリーカードのファイル、メモリーカードがセットされていないときは内蔵メモリーのファイルが表示されます。

4 画像をパソコンにコピーする

5 保存が終了したら、カメラとパソコンの接続を解除する

6 USB ケーブルを取り外す

注意

- 画像の取り込み中は、USB ケーブルを抜かないでください。
- バッテリーの残量が少ないときは、パソコンに認識されるまでに時間がかかることがあります。



メモ

- 本カメラをパソコンに接続したときは、「RICOH GR IIIx」という名称のデバイスとして認識されます。
- パソコンに接続してカメラの電源をオフにすると、バッテリーの充電が開始されます。
- 本カメラとの接続に必要なパソコンのシステム環境については、「動作環境」(p.160)を参照してください。

通信端末で利用する

カメラと通信端末を Bluetooth® または無線 LAN で接続し、専用アプリ「Image Sync」を使って通信端末からカメラを操作したり、カメラ内の画像を通信端末に表示して取り込むことができます。

5

画像を共有する



メモ

- 撮影した画像は、**1** メニュー [転送] で画像を指定して、通信端末に転送します。(p.102) 撮影した画像を自動的に転送することもできます。(p.119) 転送を行うときは、無線 LAN で接続します。
- Image Sync を操作して Bluetooth® 接続と無線 LAN 接続を切り替えることができます。
- 通信端末で利用する場合は、お使いの機器の使用説明書と Image Sync のホームページを参照してください。(p.119)
- Image Sync の画面は、ご使用のカメラや通信端末の OS、アプリのバージョンによって異なります。また機能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

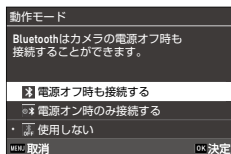


注意

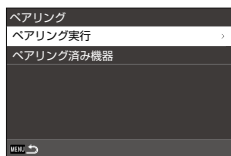
- 以下のときは、無線 LAN は無効です。
 - **1** モード
 - USB 接続中

Bluetooth® で接続する

- 1 通信端末に Image Sync をインストールする
- 2 通信端末の Bluetooth® 設定をオンにする
- 3 ③メニュー [Bluetooth 設定] で▶を押す
[Bluetooth 設定] 画面が表示されます。
- 4 [動作モード] を選択し、▶を押す
- 5 [電源オフ時も接続する] [電源オン時のみ接続する] を選択し、OK を押す



- 6 [ペアリング] を選択し、▶を押す
- 7 [ペアリング実行] を選択し、OK を押す
ペアリングが開始され、カメラの [デバイス名] と [パスワード] が表示されます。



- 8 通信端末で Image Sync を起動し、機種選択画面で [GR IIIx] を選択して [Bluetooth で接続する] をタップする
カメラと通信端末でペアリングが行われます。
通信端末と Bluetooth® で接続されると、接続状態のアイコンに変わります。





注意

- 通信端末がiOSの場合は、Image Sync から接続する必要があります。Image Sync については「通信端末で操作する」(p.119) を参照してください。
- 手順5で「電源オフ時も接続する」に設定した場合は、カメラの電源がオフのときも電波を発信しているため、注意してください。
- 航空機内など無線通信の使用が制限または禁止されている場所では、Bluetooth® を使用しないでください。
- Bluetooth® を使用するにあたっては、使用する国の法律を遵守してください。





メモ

- 手順7の画面で「ペアリング済み機器」を選択すると、ペアリングが成功した通信端末の名称が表示されます。この画面で **Fn** を押すと、ペアリングを削除することができます。最大6台の通信端末とペアリングができます。
- 手順4で「通信情報」を選択すると、カメラの「デバイス名」が表示されます。
- 手順5で「電源オフ時も接続する」に設定した場合は、カメラの電源が切れていても Image Sync の操作でカメラを起動して Bluetooth® 接続ができます。

無線 LAN を有効にする

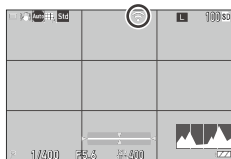
電源を入れたときは、無線 LAN はオフになっています。以下のいずれかの操作でオンに設定します。

- ・メニューで設定する (p.117)
- ・ (無線 LAN オンアイコン) を長押しする (p.118)
- ・ を長押しする (p.118)



メモ





- ・無線 LAN がオンになると、画面に無線 LAN の通信状態を表すアイコンが表示されます。
- ・無線 LAN をオンに設定しても、電源を入れ直すとオフに戻ります。



注意

- ・航空機内など無線通信の使用が制限または禁止されている場所では、無線 LAN を使用しないでください。
- ・無線 LAN を使用するにあたっては、使用する国の法律を遵守してください。

メニューで設定する

- 1  6 メニュー [無線 LAN 設定] を選択し、 を押す
- 2 [動作モード] を選択し、 を押す
- 3 [オン] を選択し、 を押す





メモ

- ・手順 2 で [通信情報] を選択すると、カメラの [SSID] [パスワード] [MAC アドレス] が表示されます。Fn を押すと、SSID とパスワードを初期設定に戻すことができます。
- ・8 メニュー [認証マーク] で、無線 LAN の認証マークを表示することができます。(p.2)

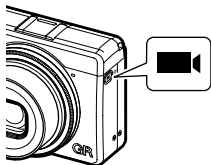
動画 / 無線ボタンを長押しする

1

動画を長押しする

電子音が鳴り、撮影画面に無線 LAN のアイコンが表示されます。

もう一度 [動画を長押しする] を長押しすると、無線 LAN がオフになります。



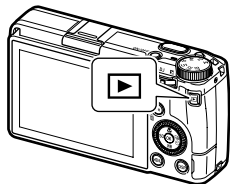
再生ボタンを長押しする

電源オフの状態から、再生モードで無線 LAN をオンにすることができます。

1

カメラの電源がオフの状態、電子音が鳴るまで再生ボタンを長押しする

再生モードで起動し、無線 LAN がオンになります。



注意

- ・上記の操作を行ったときは、シャッターボタンを押しても撮影モードには切り替わりません。撮影等を行うときは、再生ボタンを押して電源を切ってから電源ボタンで電源を入れ直してください。

通信端末で操作する

本機と通信端末を Bluetooth® または無線 LAN で接続し、専用アプリ「Image Sync」を使って以下の機能が利用できます。

リモート撮影	通信端末にカメラの撮影画面を表示し、通信端末を操作して露出設定や撮影ができます。
画像閲覧	カメラに保存されている画像を通信端末に表示し、画像を取り込むことができます。
時刻同期	通信端末の日時設定と同期してカメラの日時を修正します。

Image Sync は iOS と Android ™ に対応しています。App Store または Google Play ™ からダウンロードしてください。対応 OS などの詳細は、ダウンロードサイトを参照してください。



メモ

- カメラと通信端末の接続方法や Image Sync の機能は、下記アドレスを参照してください。

<https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/products/app/image-sync2/>



- 通信端末にインストールした Image Sync からカメラを操作したり、カメラの時刻を合わせたりすることができます。
- 🔍 メニュー [スマートフォン連携機能] で以下の設定ができます。

位置情報の記録	通信端末の位置情報を画像に記録します。
自動画像転送	撮影後に画像を自動的に通信端末に転送します。転送するファイル形式が選択できます。
オートリサイズ	[オン] に設定すると、転送する画像の [JPEG 記録サイズ] を [XS] にリサイズして転送します。
電源オフ時の画像転送	画像転送中にカメラの電源をオフにした場合に、転送を継続するかどうかを設定します。

- 通信端末と Bluetooth® で接続しているときは、状況に応じて無線 LAN のオン/オフが自動で切り替わります。

よく使う設定値を登録する

よく使用する設定を6つまで登録し、その設定をモードダイヤル **U1** / **U2** / **U3** に割り当てて、簡単に呼び出して利用できます。

以下の機能が登録できます。

- ・露出モード
- ・露出補正
- ・📷 メニューの設定（一部を除く）
- ・ **C** 2 メニュー、**C** 3 メニュー [グリッドの種類] の設定

設定を登録する

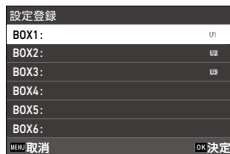
6通りの設定を登録できます。

1 登録する露出モードと機能をすべて設定する

2 **C** 1 メニュー [設定登録] を選択し、
▶ を押す
[設定登録] 画面が表示されます。



3 [BOX1] ~ [BOX6] を選択し、**OK** を押す



4 BOX の名称を入力するかどうか選択し、**OK** を押す

〔入力しない〕を選択した場合は、手順 7 に進みます。

〔入力する〕を選択した場合は、文字を入力する画面が表示されます。

5 BOX の名称を入力する

半角 32 文字以内で英数字・記号を入力します。



以下の操作ができます。

	文字選択カーソルを移動
	文字選択カーソルを上下に移動
	文字選択カーソルを左右に移動
	文字選択カーソルが選択している文字を入力

タッチパネルで操作することもできます。

6 文字が全部入力できたら文字選択カーソルを まで移動し、**OK** を押す

登録の確認画面が表示されます。

7 内容を確認し、**OK** を押す

C1 メニューに戻ります。



メモ

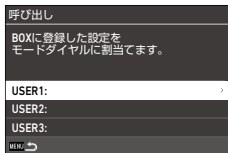
- ・名称を入力しなかったときは、登録時の日時が名称になります。
- ・名称を変更するときは、**C1** メニュー〔名称変更〕を選択します。
- ・設定を消去する場合は、**C1** メニュー〔登録消去〕を選択します。

設定をモードダイヤルに割り当てる

登録した設定をモードダイヤルに割り当てます。

- 1 **C1** メニュー [呼び出し] を選択し、▶ を押す
[呼び出し] 画面が表示されます。

- 2 設定を登録するモードダイヤル
USER1 (U1) / USER2 (U2) /
USER3 (U3) を選択し、▶ を押す



- 3 [BOX1] ~ [BOX6] を選択し、**OK** を押す
選択した設定値がモードダイヤルに割り当てられます。
手順 2 の画面に戻ります。

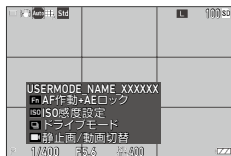
6

設定を変更する

USER モードを利用する

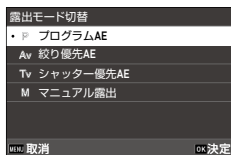
1 撮影モードで、モードダイヤルを U1 / U2 / U3 に合わせる

撮影画面に USER モードのガイドが表示されます。



2 必要に応じて設定を変更する

露出モードを変更する場合は、 2 メニュー [露出モード切替] で変更します。



メモ

- 手順 2 で変更した設定は、カメラに記憶されません。モードダイヤルを切り替えると、登録済みの設定に戻ります。設定を変更する場合は、[設定登録] をやり直してください。
- モードダイヤルに割り当てた BOX の設定を変更すると、モードダイヤルの設定も変更されます。

6

設定を変更する

ボタンをカスタマイズする

ADJ モードに機能を登録する

ADJ を押し込んで機能を簡単に利用する「ADJ モード」の設定を変更することができます。

以下の撮影機能から、5 つの機能が登録できます。（〔 〕 は初期設定）

- ・ オフ
- ・ フォーカス〔設定 2〕
- ・ スナップ撮影距離
- ・ 記録形式〔設定 4〕
- ・ アスペクト比
- ・ クロップ
- ・ JPEG 記録サイズ
- ・ 測光モード〔設定 3〕
- ・ ISO 感度設定
- ・ フラッシュモード
- ・ フラッシュ光量補正
- ・ ドライブ
- ・ セルフタイマー
- ・ イメージコントロール〔設定 1〕
- ・ M モードワンプッシュ AE
- ・ タッチ AF
- ・ アウトドアモニター〔設定 5〕

6

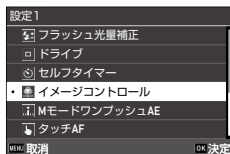
設定を変更する

1 **C2**メニュー〔ADJ モード設定〕を選択し、**▶** を押す
〔ADJ モード設定〕画面が表示されます。

2 〔設定 1〕～〔設定 5〕を選択し、**▶** を押す



3 登録する機能を選択し、**OK** を押す
ADJ モードの機能が変更されます。





注意


- [ADJ モード設定] で変更した設定が有効となるのは、静止画モードのときのみです。■i モードのときは、[イメージコントロール] [フォーカス] [測光モード] [フレームレート] [アウトドアモニター] が登録されており、変更できません。



メモ

- ADJ モードの使い方は、「ADJ レバーで設定する」(p.23) を参照してください。

Fn ボタンの機能を変更する

Fn と ◀ / ▶ /  を押したときの機能を変更することができます。
以下の撮影機能から、各ボタンに登録ができます。([] は初期設定)

Fn / ◀ / ▶ / 

- ・ オフ
- ・ フォーカス
- ・ MF 切替
- ・ スナップ切替
- ・ 追尾 AF 切替
- ・ AF 作動
- ・ AF 作動 + AE ロック [Fn ボタン]
- ・ AE ロック
- ・ 顔 / 瞳検出
- ・ スナップ撮影距離
- ・ 記録形式
- ・ JPEG → RAW
- ・ JPEG → RAW+
- ・ アスペクト比
- ・ クロップ
- ・ JPEG 記録サイズ
- ・ フレームレート
- ・ 静止画 / 動画切替 [動画 / 無線ボタン]
- ・ 測光モード
- ・ ISO 感度設定 [ISO ボタン]
- ・ フラッシュモード
- ・ フラッシュ光量補正
- ・ ND フィルター
- ・ ドライブモード [ドライブボタン]
- ・ ドライブ
- ・ 連続撮影
- ・ セルフタイマー
- ・ イメージコントロール
- ・ Shake Reduction
- ・ M モードワンプッシュ AE
- ・ 十字キー動作切替
- ・ タッチ AF
- ・ アウトドアモニター

6

設定を変更する

長押し

- ・ 無線 LAN 設定
[動画 / 無線ボタン長押し]
- ・ プレビュー

- 1** **C2**メニュー [Fn ボタン設定] を選択し、▶ を押す
[Fn ボタン設定] 画面が表示されます。

- 2** 変更するボタンを選択し、▶ を押す



- 3** 登録する機能を選択し、**OK** を押す
ボタンの機能が変更されます。



メモ

- ・[Fn ボタン設定] 画面で、以下の動作に該当する機能を割り当てた場合のボタン操作時の動作を設定できます。

フォーカス設定	ボタンを押したときの動作を、[シャッターボタンと同じ] [オートエリア AF] [セレクト AF] [ピンポイント AF] [追尾 AF] [コンティニュアス AF] から選択します。
AE ロック維持	[オン] は、ボタンを押すたびに AE ロックのオン/オフが切り替わります。[オフ] は、ボタンを押している間だけ AE ロックされます。
M モードワンプッシュ AE	M モード時にボタンを押すと、適正露出に調整します。このときに調整するモードを、[プログラム AE] [絞り優先 AE] [シャッター優先 AE] から選択します。

- ・電源をオンにしたときやモードダイヤルを回したときに、現在のボタンの機能が表示されます。**2**メニュー [ガイド表示] を [オフ] に設定すると、表示されません。



注意

- **Fn** の機能は、撮影モードのときのみ有効です。再生モードでは、[無線 LAN 設定] のみ動作します。
- **Fn** には、[AF 作動] [AF 作動 + AE ロック] [AE ロック] [M モードワンプッシュ AE] を割り当てることはできません。

シャッターボタンの動作を設定する

SHUTTER を押したときの動作を **C2** メニューで設定できます。

シャッターボタン 設定	SHUTTER 半押しで AF 作動と AE ロックを行うか、AE ロックだけを行うか設定します。
シャッターボタン 確定	ADJ モードなど、ライブビューが表示されている画面で機能を設定したときに、 SHUTTER 半押しで設定を終了するかどうかを設定します。 Fn で AF を作動させたときも、この設定が適用されます。 [オン] : SHUTTER 半押しで設定終了 [オフ] : SHUTTER 半押し解除後に、設定画面に戻る

表示と音の設定

撮影時／再生時の表示情報を設定する

撮影モードまたは再生モードで **DISP** を押して表示を切り替えたときに、表示する情報を設定します。

1 **C3** メニュー [撮影時表示設定] [再生時表示設定] を選択し、**▶** を押す

[撮影時表示設定] 画面、または [再生時表示設定] 画面が表示されます。
[再生時表示設定] は、手順 3 に進みます。

2 **◀▶** で [画面表示] を選択し、**ADJ** を押して各表示モードのオン／オフを切り替える

[標準情報表示] [簡易情報表示] [情報表示なし] [画像モニターオフ] の表示モードが設定できます。

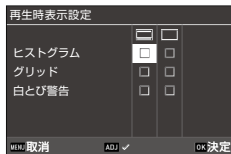


チェックマークが付いていない表示モードは、撮影時に **DISP** を押しても表示されません。必ず 1 つ以上をオンに設定してください。

3 **▲▼◀▶** で表示項目を選択し、**ADJ** でオン／オフを切り替える

[撮影時表示設定]

ヒストグラム	ヒストグラムを表示します。
グリッド	グリッド線を表示します。
白とび警告	撮影時に白とびになることが予想される部分を赤で点滅表示します。
電子水準器	カメラの傾きを確認するインジケーターを表示します。



ヒストグラム	画像のヒストグラムを表示します。
グリッド	グリッド線を表示します。
白とび警告	白とびとなった部分を赤で点滅表示します。

4 OK を押す

クイックビューの表示を設定する

撮影直後に画像を表示する「クイックビュー」時の表示内容を、**C3** メニュー [クイックビュー] で設定できます。

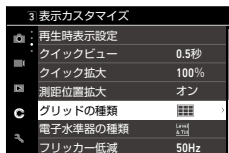


表示時間	クイックビューの表示時間を設定します。 [HOLD] に設定すると、次に SHUTTER 半押しなどの操作を行うまで画像が表示されます。
拡大表示	クイックビュー中に ADJ で拡大表示ができます。
消去	クイックビュー中に trash で画像を消去できます。

クイックビューまたは再生モードの1画像表示で **ADJ** を押し込んでクイック拡大したときの最初の倍率は、**C3** メニュー [クイック拡大] で設定できます。

ライブビューの表示を設定する

ライブビューの表示について、**C**3メニューで以下の設定ができます。



グリッドの種類	グリッド線を表示するときの種類を [9 分割] [16 分割] から選択します。
電子水準器の種類	水平方向だけの水準器を表示するか、アオリ（前後）方向も表示するか選択します。
フリッカー低減	電源周波数を設定し、ライブビューのちらつきを低減させます。

画像モニターの明るさと色みを設定する

画像モニター設定

3メニュー [画像モニター設定] で、[明るさ] [彩度] [ブルー / アンバー調整] [グリーン / マゼンタ調整] ができます。



6

設定を変更する

アウトドアモニター

屋外などで撮影する場合に画像モニターの表示が見にくいときは、**Fn** 3 メニュー [アウトドアモニター] で明るさを調節することができます。



メモ

- **C** 2 メニュー [ADJ モード設定] に登録できます。(p.124)。

ランプを設定する

Fn 4 メニューで、ランプの点灯について設定ができます。



電源ボタンランプ	電源をオンにしたときに、電源ボタンランプを点灯させるかどうか設定します。
カウントダウン	[ドライブモード] の [セルフタイマー] を使用して撮影するときの AF 補助光の点滅を設定します。

電子音を設定する

5 メニューで、電子音の設定ができます。



電子音	[すべて鳴らす]：シャッター音、合焦音、カウントダウンのタイマー音、無線 LAN のオン／オフ切り替え音を鳴らします。 [シャッター音のみ鳴らす]：シャッター音だけを鳴らします。
音量	電子音の音量を設定します。[0] に設定すると、電子音は鳴りません。

6

設定を変更する

省電力の設定

自動的に電源をオフにする

一定時間カメラを操作しなかったときに、自動的に電源をオフにします。🔍メニュー [オートパワーオフ] で [1 分] [3 分] [5 分] [10 分] [30 分] [オフ] が設定できます。


復帰するときは、電源ボタンを押します。

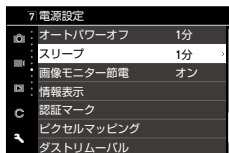


メモ

- 以下のときは、[オートパワーオフ] は動きません。
 - 動画撮影中／再生中
 - [ドライブモード] の [インターバル撮影] [インターバル合成] 撮影中
 - 処理中
 - 画像転送中
 - パソコン接続中
 - Image Sync 接続中

画像モニターの輝度を落とす

カメラを操作しなかったときに、画像モニターの輝度を落とします。 7 メニューで以下の設定できます。



スリープ	一定時間カメラを操作しなかったときに、画像モニターが消灯します。スリープ中は、ステータスランプが点灯します。 [1 分] [3 分] [5 分] [10 分] [30 分] [オフ] が設定できます。
画像モニター節電	カメラを約 5 秒間動かさなかったときに、画像モニターの輝度を落とします。 [オン] [オフ] が設定できます。

カメラを操作すると、元の輝度に戻ります。



メモ

- 以下のときは、[スリープ] は働きません。
 - [ドライブモード] の [インターバル撮影] [インターバル合成] 撮影中
 - 動画撮影中／再生中
 - AV 機器接続中
 - Image Sync 接続中
- 以下のときは、[画像モニター節電] は働きません。
 - クイックビュー中
 - 再生モード中
 - AV 機器接続中

画像管理に関する設定

フォルダー／ファイルを設定する

ファイル名とフォルダー名は初期設定では、以下の名前が自動的に付きます。

ファイル名	R0000001.JPG ～ R0999999.JPG
フォルダー名	100 ～ 999

ファイル名の番号が R0**9999 を超えると次のフォルダーが作成され、ファイル番号は R0**0001 になります。フォルダー番号が 999 のときは、ファイル番号が R0**9999 を超えると、そのメモリーカードでは記録できなくなります。

ファイル名／フォルダー名の付け方は、変更することができます。

6

フォルダー新規作成

1 メニュー [フォルダー新規作成] を選択すると、次の画像の保存時に新たな番号のフォルダーを作成します。

注意 -----

- ・複数のフォルダーを続けて作成することはできません。

メモ -----

- ・ [ドライブモード] の [インターバル撮影] [インターバル合成] の撮影時は、自動的に新しいフォルダーが作成されます。

フォルダー名

本機で撮影を行うと、フォルダーが自動的に作成されて画像が保存されます。フォルダー名には、100～999の連番と5文字の文字列が付きます。

フォルダー名の文字列を変更することができます。

- 1 **1** メニュー [フォルダー名] を選択し、**▶** を押す
[フォルダー名] 画面が表示されます。

- 2 **2** [フォルダー名] で [日付] [任意] を選択する



日付	フォルダー番号の後ろに撮影した月日が4桁で付きます。 月日は 1 10 メニュー [日時設定] の表示スタイルに準じます。 例) 101_0125・・・1月25日に撮影
任意	フォルダー番号の後ろに任意の5文字が付きます。 (初期設定：RICOH) 例) 101RICOH





[日付] を選択した場合、または文字列を変更しない場合は、手順6へ進みます。

- 3 **3** **▼** を押して [任意文字入力] を選択し、**▶** を押す
文字を入力する画面が表示されます。

- 4 **4** フォルダー名を入力する
半角5文字以内で英数字を入力します。



以下の操作ができます。

	文字選択カーソルを移動
	文字選択カーソルを上下に移動
	文字選択カーソルを左右に移動
	文字選択カーソルが選択している文字を入力

タッチパネルで操作することもできます。

5 文字が全部入力できたら文字選択カーソルを ← まで移動し、 を押す

登録の確認画面が表示されます。

6 内容を確認し、 を押す

[フォルダー名] 画面に戻ります。

6

設定を変更する



メモ

- ・フォルダー名を変更すると、次の撮影時に新たな番号のフォルダーが作成されます。



注意

- ・フォルダー番号は最大 999 番です。999 番フォルダーが作成済みのときに、フォルダー名の変更やフォルダー新規作成などを行うと、撮影ができなくなります。またファイル番号が 9999 に達したときも、撮影ができなくなります。

ファイル名

ファイル名の先頭には、5 メニュー [色空間] (p.87) の設定によって静止画には以下の文字列が付きます。

色空間	ファイル名
sRGB	R0*****.JPG
AdobeRGB	_R*****.JPG

先頭の 2 文字「R0」を任意の文字列に変更することができます。

1 1 メニュー [ファイル名] を選択し、 を押す
[ファイル名] 画面が表示されます。


2 で / を選択し、
で文字列を指定する
アルファベット大文字と数字、「_」が指定できます。

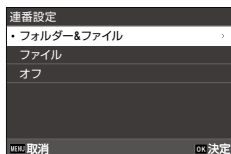


3 を押す

メモ -----
・ [色空間] が [AdobeRGB] の場合はファイル名の先頭は「_」となり、指定した文字列の先頭 1 文字がファイル名になります。

連番設定

新しいフォルダーが作成されたときやメモリーカードを入れ替えたときに、フォルダー番号とファイル番号を継続するかどうかを、 1 メニュー「連番設定」で、設定できます。




連番設定	フォルダー切り 替わり時	メモリーカード入れ替え時	
	ファイル番号	フォルダー番号	ファイル番号
フォルダー & ファイル	継続	継続	継続
ファイル	継続	リセット	継続
オフ	リセット	リセット	リセット

6

設定を変更する

連番リセット

 1 メニュー「連番リセット」を実行すると、次の撮影時に新たな番号のフォルダーが作成され、ファイル番号が 0001 から開始されます。



メモ

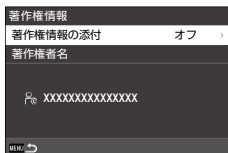
- ・ファイル番号が 9999 に達すると、フォルダーが新規に作成されてファイル番号がリセットされます。
- ・メモリーカードがセットされていないときは、内蔵メモリーのファイル番号がリセットされます。

著作権情報を設定する

画像の Exif データに記録する著作権者の情報を設定します。

- 1** **1** メニュー [著作権情報] を選択し、**▶** を押す
[著作権情報] 画面が表示されます。

- 2** [著作権情報の添付] で [オン] [オフ] を選択し、**OK** を押す



- 3** [著作権者名] で **▶** を押す
文字を入力する画面が表示されます。

- 4** 著作権者名を入力する
半角 32 文字以内で英数字・記号を入力します。



以下の操作ができます。

▲▼◀▶	文字選択カーソルを移動
⌚ / ↶	文字選択カーソルを上下に移動
ADJ	文字選択カーソルを左右に移動
OK	文字選択カーソルが選択している文字を入力

タッチパネルで操作することもできます。

- 5** 文字が全部入力できたら文字選択カーソルを **←** まで移動し、**OK** を押す

登録の確認画面が表示されます。

6 内容を確認し、**OK** を押す

[著作権情報] 画面に戻ります。



メモ

- Exif 情報は、再生モードの [詳細情報表示] (p.21) で確認できます。

別売り品の取り付け

コンバージョンレンズ／レンズアダプター

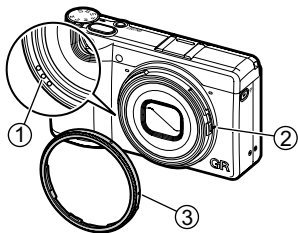
テレコンバージョンレンズ（GT-2）／レンズアダプター（GA-2）を使用するときは、リングキャップを取り外します。

別売り品の取り扱いについては、製品に付属の使用説明書を参照してください。

リングキャップの取り外し方

カメラの電源がオフの状態、リングキャップ（GN-2）を反時計回りに回して取り外します。コンバーターピン（①）には触らないように注意してください。

レンズアダプターを取り外すときも、反時計回りに回転させてください。



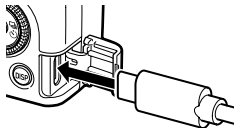
リングキャップの取り付け方

カメラの電源がオフの状態、カメラ本体の目印 ② にリングキャップ（GN-2）の目印 ③ を合わせ、「カチッ」と音がする位置まで時計方向に回します。

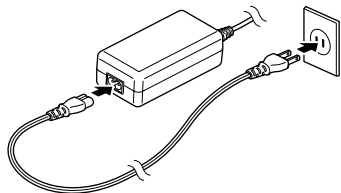
AC アダプター

長時間使用するときは、AC アダプター (D-AC166) を使用することをお勧めします。

- 1 カメラの電源がオフになっていることを確認し、端子カバーを開ける
- 2 カメラの USB 端子に AC アダプターの USB Type-C ケーブルを接続する



- 3 AC アダプターに AC コードを接続し、コンセントに差し込む



- 4 カメラの電源をオンにする



注意

- ・電源プラグや AC コードは、しっかりと差し込んでください。
- ・カメラを使用しないときは、AC アダプターをカメラや電源コンセントから抜いてください。
- ・カメラの使用中に AC アダプターを取り外したり、電源プラグがコンセントから抜けたりすると、データが破壊されることがあります。
- ・AC アダプターの使用中は、AC アダプターのケーブルを持ったままカメラを動かさないでください。
- ・国や地域によっては、使用できない場合があります。

困ったときは

電源

症状	原因	処置	参照先
電源が入らない	バッテリーがセットされていない	バッテリーを充電し、正しくセットしてください。	p.40
	バッテリー消耗している		
	バッテリーの挿入方向が違う		
	使用できないバッテリーを使用している	専用バッテリー DB-110 を使用してください。	—
	AC アダプターが正しく接続されていない	正しく接続してください。	—
電源が途中で切れる	操作しない時間が続いたため、[オートパワーオフ] が働いた	電源を入れ直してください。	p.42
	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電してください。	p.40
電源がオフにならない	カメラの誤作動	バッテリーをセットし直してください。	p.39
十分に残量があるバッテリーなのに、残量が少ないマークが表示される、または電源がオフになる	使用できないバッテリーを使用している	専用バッテリー DB-110 を使用してください。	—
バッテリーが充電できない	バッテリーの故障	新しいバッテリーに交換してください。	—
	バッテリーが高温になっている	バッテリーを常温まで冷ましてください。	—

症状	原因	処置	参照先
バッテリーの消耗が早い	温度が極端に低いところや高いところで使用している	—	—

撮影

症状	原因	処置	参照先
SHUTTER を押しても撮影できない	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電してください。	p.40
	電源が入っていない、または撮影モードになっていない	電源をオンにするか、 SHUTTER を押して撮影モードにしてください。	p.42
	メモリーカードがフォーマットされていない	1 メニュー [フォーマット] を実行してください。	p.44
	メモリーカードに空き容量がない	不要なファイルを削除するか、新しいカードをセットしてください。	p.99
	メモリーカードの寿命	新しいカードをセットしてください。	—
	メモリーカードが「LOCK」されている	書き込み禁止を解除してください。	—
	メモリーカードの接触面が汚れている	乾いた柔らかい布で拭き取ってください。	—
撮影画像を確認できない	画像確認時間が短い	C3 メニュー [クイックビュー] の [表示時間] を変更してください。	p.130
画像モニターに映らない	画像モニターが暗い	3 メニューで画像モニターの明るさを調整してください。	p.131
	画像モニターがオフになっている	DISP を押して、画像モニターをオンにしてください。	p.20
	AV 機器と接続している	ケーブルを取り外してください。	p.98

症状	原因	処置	参照先
オートフォーカスなのにピントが合わない	レンズが汚れている	乾いた柔らかい布できれいに拭き取ってください。	—
	被写体が撮影範囲枠の中央にない	フォーカスロックで撮影してください。	—
	ピントが合いにくい被写体である	フォーカスロック、または [MF] で撮影してください。	p.62
	被写体との距離が近すぎる	マクロモードで撮影するか、被写体から離れて撮影してください。	p.63
手ぶれになる	SHUTTER を押したときに、カメラが動いた	両肘を身体に付けて構えたり、三脚を使用して撮影してください。	—
	薄暗い場所での撮影時には、シャッター速度が遅くなり、手ぶれしやすくなる	フラッシュを使用するか、[ISO 感度設定] を高く設定してください。	p.67 p.65
フラッシュが発光しない	フラッシュが使用できない機能を選択している	設定やモードを確認してください。	—
フラッシュが発光したのに画像が暗い	被写体が黒っぽい	フラッシュの光量を調節してください。	p.68
	フラッシュの光量が適切でない		
画像が明るすぎる	フラッシュの光量が適切でない	フラッシュの光量を調整するか、被写体から少し離れて撮影してください。 または、被写体に照明などを当ててフラッシュを使用しないで撮影してください。	p.68
	画像モニターの明るさが適切でない	3 メニューで画像モニターの明るさを調整してください。	p.131

症状	原因	処置	参照先
画像が暗すぎる	画像モニターの明るさが適切でない	Ⓜ3メニューで画像モニターの明るさを調整してください。	p.131
	露出補正がマイナスに設定されている	露出補正を変更してください。	p.55
画像が自然な色合いにならない	オートホワイトバランスで調整しにくい状況で撮影している	被写体に白色系のものを入れて撮影するか、[ホワイトバランス]を[オートWB]以外に設定してください。	p.72
AF動作中、画像モニターの明るさが変化する	オートフォーカス範囲と周囲の明るさが異なるとき、または暗いところで使用している	故障ではありません。	—
電子水準器が表示されない	電子水準器が表示されない設定になっている	Ⓜ3メニュー [撮影時表示設定]を確認してください。	p.129
電子水準器の目盛りが中央を指している状態で撮影したのに、画像が傾いている	乗り物に乗っているなど、動いている状態で撮影している	停止している状態で撮影してください。	—
	被写体自体が傾いている	被写体を確認してください。	—

再生／削除

症状	原因	処置	参照先
日付などの記録情報が表示されない	画面表示が [情報表示なし] になっている	DISP を押して表示を切り替えます。	p.20

症状	原因	処置	参照先
画像にゴミが写り込む	センサーに汚れやほこりが付着している	㊟9メニュー [ダストリムーバル] を実行してください。 電源のオン/オフ時に毎回作動させることもできます。	—
撮影画像に、欠けや常時点灯する箇所がある	センサーの画素に欠けがある	㊟9メニュー [ピクセルマッピング] を実行してください。 補完処理は 30 秒ほどがかかるので、十分に充電したバッテリーを使用してください。	—
AV 機器に映らない	ケーブルが正しく接続されていない	ケーブルを正しく接続し直してください。	p.98
	AV 機器の入力切り替えが間違っている	AV 機器の設定を確認してください。	—
メモリーカードが再生できない 再生画面が出ない	本カメラでフォーマットしていないメモリーカードを再生した	本カメラで ㊟1メニュー [フォーマット] を実行したメモリーカードをセットしてください。	p.44
	メモリーカードの接触面が汚れている	乾いた柔らかい布で拭き取ってください。	—
	使用中のメモリーカードに異常がある	別のメモリーカードが再生できれば、カメラは問題ありません。異常があるカードは使用しないでください。	—
画面が消えた	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電してください。	p.40
	操作しない時間が続いたので、[オートパワーオフ] が働いた	電源を入れ直してください。	p.42

症状	原因	処置	参照先
ファイルを削除できない	「プロテクト」が設定されている	▶ 1 メニュー「プロテクト」で解除してください。	p.100
	メモリーカードが「LOCK」されている	書き込み禁止を解除してください。	—
メモリーカードがフォーマットできない	メモリーカードが「LOCK」されている	書き込み禁止を解除してください。	—

その他

症状	原因	処置	参照先
メモリーカードが入らない	挿入方向が違う	正しくセットしてください。	p.39
カメラのボタンを操作しても作動しない	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電してください。	p.40
	カメラの誤作動	電源を入れ直してください。 バッテリーをセットし直してください。 ACアダプター使用時は接続し直してください。	p.42 p.39
日付が正しくない	正しい日付・時刻が設定されていない	⚡ 10 メニューで設定し直してください。	p.43
設定した日付が消えてしまった	バッテリーを抜いてしまった	バッテリーを取り出した状態が約 5 日間以上続くと、日付がリセットされます。 ⚡ 10 メニューで設定し直してください。	p.43

エラーメッセージ

エラーメッセージ	内容
カードの空き容量がありません。	メモリーカードの容量いっぱいに画像が保存されていて、これ以上画像が保存できません。新しいメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。(p.99)
内蔵メモリーの空き容量がありません。	内蔵メモリーの容量いっぱいに画像が保存されていて、これ以上画像が保存できません。メモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。(p.99)
画像がありません。	メモリーカード／内蔵メモリーに再生できる画像が保存されていません。
この画像を表示できません。	本カメラで再生できない画像を再生しようとしています。パソコンでは表示できる場合があります。
カードが入っていません。	メモリーカードがセットされていません。
カードが異常です。	メモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合があります。
Internal Memory Error.	内蔵メモリーに異常があります。内蔵メモリーをフォーマットしてください。(p.44)
カードがフォーマットされていません。	フォーマットされていないメモリーカードがセットされているか、他の機器で使用したメモリーカードがセットされています。本カメラでフォーマットしてから使用してください。(p.44)
カードがロックされています。	ライトプロテクトスイッチがロックされたメモリーカードがセットされています。
このカードは利用できません。	本カメラが対応していないメモリーカードがセットされています。
この画像を拡大表示できません。	拡大できない画像を拡大表示しようとしています。

エラーメッセージ	内容
電池容量が足りないためピクセルマッピングを行えません。	ピクセルマッピングまたはアップデートを実行時にバッテリー容量が足りない場合に表示されます。十分に充電したバッテリーを使用してください。
電池容量が足りないためアップデートを行えません。	
フォルダーが作成できません。	最大のフォルダー No. (999) が使用されているため、画像が保存できません。新しいメモリーカードをセットするか、メモリーカード／内蔵メモリーをフォーマットしてください。(p.44)
画像を保存できませんでした。	メモリーカードの異常で、撮影した画像が保存できません。
この画像を処理できません。	他のカメラで撮影した画像に対して ▶2 メニューの機能を実行した場合、または最小サイズの画像に対して [リサイズ] [トリミング] を実行した場合に表示されます。
カメラが高温になりました。電源をオフします。	カメラ内部が高温になったため、電源が切れます。しばらくしてから電源を入れてください。
アップデートに失敗しました。	アップデートが正しく実行されませんでした。カメラの電源を入れ直して、再度アップデートを実行してください。
ファイルが壊れているためアップデートを行えません。	アップデートファイルが不正です。アップデートファイルをダウンロードし直して、アップデートを実行してください。
ペアリングを実行できません。動作モードを確認してください。	Bluetooth® でペアリングができませんでした。設定を確認してください。(p.115)

主な仕様

カメラ本体

レンズ	レンズ構成	5 群 7 枚 (非球面レンズ 2 枚)
	焦点距離・F 値	26.1mm (35 ミリ判換算で約 40mm 相当)、F2.8 ~ F16
撮像部	撮像素子	種類：原色フィルター／CMOS サイズ：23.5mm × 15.6mm
	有効画素数	約 2424 万画素
	感度 (標準出力感度)	ISO 100 ~ ISO 102400：オート (下限値／上限値／低速限界値設定可能)、マニュアル
	手ぶれ補正	撮像素子シフト方式 (Shake Reduction) (3 軸補正)
	ローパスセクター	SR ユニットを用いたモアレ低減機能 (オフ、弱、強)
	ダストリムーバル	超音波振動による撮像素子クリーニング機能 (DR II)
記録形式	静止画	ファイル形式：RAW (DNG) 14bit、JPEG (Exif 2.3 準拠)、DCF2.0 準拠 色空間：sRGB、AdobeRGB 記録サイズ： [3:2] L (24M：6000 × 4000) M (15M：4800 × 3200) S (7M：3360 × 2240) XS (2M：1920 × 1280) [1:1] L (16M：4000 × 4000) M (10M：3200 × 3200) S (5M：2240 × 2240) XS (1.6M：1280 × 1280)
	動画	ファイル形式：MPEG4 AVC / H.264 (MOV) 記録サイズ：Full HD (1920 × 1080、60p / 30p / 24p)、音声記録：内蔵ステレオマイク 記録時間：最大 4GB または最長約 25 分、内部温度上昇時は自動終了

記録形式	記録媒体	内蔵メモリー（約 2GB）、SD / SDHC / SDXC メモリーカード（SDHC、SDXC メモリーカードは UHS-I 規格に対応）
フォーカス	フォーカスタイプ	像面位相差検出およびコントラスト検出によるハイブリッド方式
	フォーカスモード	オートエリア AF、セレクト AF、ピンポイント AF、追尾 AF、コンティニユアス AF、MF、スナップ（1m、1.5m、2m、2.5m、5m、 ∞ ）、 ∞
	フルプレススナップ	シャッターボタン一気押し、画像モニタータッチによるピント位置固定撮影機能
	顔 / 瞳検出	オン、オートエリア AF のみ、オフ
	撮影距離範囲（レンズ先端から）	標準：約 0.2m ~ ∞ 、マクロモード：約 0.12m ~ 0.24m
露出制御	露出モード	プログラム AE、絞り優先 AE、シャッター優先 AE、マニュアル露出
	測光モード	分割測光、中央重点測光、スポット測光、ハイライト重点測光
	シャッタースピード	1/4000 ~ 30 秒（絞りによる制限 F2.8：1/2500 秒まで、F5.6 以上：1/4000 秒まで）、バルブタイマー（10 秒 ~ 20 分）、バルブ、タイム
	露出補正	静止画撮影時： ± 5 EV、1/3EV ステップ、動画撮影時： ± 2 EV、1/3EV ステップ
	ND フィルター（2 段）	オート、オン、オフ
ホワイトバランス		オート WB、マルチパターンオート、太陽光、日陰、曇天、昼光色蛍光灯、昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、電球色蛍光灯、白熱灯、CTE、マニュアル WB、色温度
	微調整	A-B 軸、G-M 軸で ± 14 ステップで調整可

ドライブ モード	ドライブ	1 コマ撮影、連続撮影、ブラケット撮影、多重露出、インターバル撮影、インターバル合成
	セルフタイマー	10 秒、2 秒、オフ
撮影時機能	クロップ	50mm、71mm、オフ
	イメージコントロール	スタンダード、ビビッド、モノトーン、ソフトモノトーン、ハードモノトーン、ハイコントラスト白黒、ポジフィルム調、ブリーチバイパス、レトロ、HDR 調、クロスプロセス、カスタム 1、カスタム 2 調整項目：彩度、色相、キー、コントラスト、コントラスト（明部）、コントラスト（暗部）、シャープネス、シェーディング、明瞭度、調色、フィルター効果、粒状感、HDR 調効果、色調（選択によって調整可能項目は異なります）
	ダイナミックレンジ補正	ハイライト補正、シャドウ補正
	ノイズリダクション	長秒時ノイズ低減、高感度ノイズ低減
	自動水平補正	SR オン時：最大 1.0 度まで補正可能 SR オフ時：最大 1.5 度まで補正可能
	表示	拡大表示（4 倍、16 倍）、グリッド表示（9 分割、16 分割）、ヒストグラム表示、白とび警告、電子水準器
再生機能	再生方法	1 画像、マルチ画面表示（20、48 画面）、拡大表示（最大 16 倍まで、等倍表示可、クイック拡大可）、ヒストグラム表示（Y ヒストグラム、RGB ヒストグラム）、グリッド表示（9 分割、16 分割）、白とび警告、画像の自動回転
	JPEG 画質調整	通常編集、モノトーン編集 調整項目：明るさ、彩度、フィルター効果、色相、調色、コントラスト、シャープネス（選択によって調整可能項目は異なります）

再生機能	RAW 現像	JPEG 記録サイズ、アスペクト比、色空間、ホワイトバランス、イメージコントロール、周辺光量補正、増減感、高感度ノイズ低減、シャドー補正
	編集機能	消去、プロテクト、回転、コピー、転送、リサイズ、トリミング（アスペクト比変更可、傾き修正可）、レベル補正、ホワイトバランス補正、色モアレ補正、動画切出し、動画分割
画像モニター	形式	3.0 型 TFT カラー LCD（アスペクト比 3：2）、約 103.7 万ドット、広視野角タイプ、エアギャップレス強化ガラス
	タッチパネル	静電容量方式
	調整	明るさ、彩度、ブルー／アンバー、グリーン／マゼンタ、アウトドアモニター：± 2 ステップ
無線 LAN 通信	準拠規格	IEEE 802.11b/g/n (HT20)（無線 LAN 標準プロトコル）
	使用周波数（中心周波数）	2412MHz ～ 2462MHz（1ch ～ 11ch）
	セキュリティ	認証方式：WPA2、暗号化方式：AES
Bluetooth® 通信	準拠規格	Bluetooth® v4.2（Bluetooth Low Energy）
	使用周波数（中心周波数）	2402MHz ～ 2480MHz（CH0 ～ CH39）
外部インターフェース	USB Type-C	充電式バッテリーへの充電／カメラ本体への電源供給（専用 AC アダプター使用時）、データ転送：MTP 方式、外部映像出力：DisplayPort over USB-C（DisplayPort Alternative Mode）
	ホットシュー	P-TTL 自動調光外部フラッシュに対応 発光方式：強制発光、赤目軽減強制発光、スローシンクロ、赤目軽減スローシンクロ フラッシュ光量補正：-2.0 ～ +1.0
	レンズアダプターピン	あり

電源	使用電池	充電式バッテリー DB-110
	AC アダプター	AC アダプターキット K-AC166J (別売り)
	電池寿命	<p>撮影可能枚数：約 200 枚</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満充電の充電式バッテリー使用、23℃、撮影枚数は CIPA 規格に準じた測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。 <p>再生時間：約 180 分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。
外形寸法・質量	外形寸法	約 109.4 (幅) × 61.9 (高) × 35.2 (厚) mm (操作部材、突起部を除く)
	質量	約 262g (バッテリー、SD メモリーカード含む)、約 232g (本体のみ)
付属品		充電式バッテリー DB-110、USB 電源アダプター、電源プラグ、USB ケーブル I-USB166、ハンドストラップ
言語		英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、イタリア語、オランダ語、デンマーク語、スウェーデン語、フィンランド語、ポーランド語、チェコ語、ハンガリー語、トルコ語、ギリシャ語、ロシア語、タイ語、韓国語、中国語 (繁体字、簡体字)、日本語

USB 電源アダプター

電源	AC 100 ~ 240V (50/60Hz) 0.2A
出力	DC 5.0V、1000mA
使用温度	10 ~ 40℃
外形寸法	42.5mm × 22mm × 66.5mm (電源プラグ含まず)
質量	約 40g (電源プラグ含まず)

充電式バッテリー DB-110

公称電圧	3.6V
定格容量	1350mAh、4.9Wh
使用温度	0 ~ 40℃
保存温度	-10 ~ 45℃
本体外形寸法	39.8mm × 34.2mm × 8.5mm
質量	約 26g

7

付録

記録可能枚数／時間

内蔵メモリー／メモリーカードのフォーマット別の記録可能枚数／時間（秒）の目安は、以下のとおりです。

静止画

記録形式／ JPEG 記録 サイズ	アスペクト 比	焦点距離 *1	記録画素数	内蔵 メモリー	メモリー カード 8GB
L	3:2	—	6000 × 4000	140	527
	1:1	—	4000 × 4000	209	788
M	3:2	—	4800 × 3200	218	820
	1:1	—	3200 × 3200	324	1220
S	3:2	—	3360 × 2240	437	1646
	1:1	—	2240 × 2240	645	2428
XS	3:2	—	1920 × 1280	1253	4717
	1:1	—	1280 × 1280	1810	6813

記録形式/ JPEG 記録 サイズ	アスペクト 比	焦点距離 *1	記録画素数	内蔵 メモリー	メモリー カード 8GB
RAW	3:2	40mm	6000 × 4000	40	150
		50mm		40	154
		71mm		41	157
	1:1	40mm		40	153
		50mm		41	156
		71mm		42	158
RAW+	3:2	40mm	6000 × 4000	31	117
		50mm		34	129
		71mm		38	143
	1:1	40mm		34	128
		50mm		36	138
		71mm		39	148

*1 35 ミリ判換算値

動画

記録サイズ	アスペクト 比	フレーム レート	記録画素数	内蔵 メモリー	メモリー カード 8GB
Full HD	16:9	60p	1920 × 1080	3:16	12:17
	16:9	30p		6:25	24:09
	16:9	24p		7:57	29:56



メモ

- 動画の記録可能時間は、合計の記録可能時間の目安です。1 回の撮影で記録可能な動画は、最大 25 分または最大 4GB までです。
- 画像モニターに表示される残り記録枚数は、実際に撮影できる枚数と異なる場合があります。
- 静止画の記録可能枚数や動画の記録時間は、記録先の容量や撮影条件などによって異なる場合があります。

動作環境

本カメラとの USB 接続は、以下の OS で動作を確認しています。

Windows®	Windows® 10 (FCU / CU) (32bit / 64bit) / Windows® 8.1 (32bit / 64bit)
Mac	macOS 11 Big Sur / macOS 10.15 Catalina

海外でお使いのときは

USB 電源アダプター／AC アダプター(D-AC166)／バッテリー充電器 (BJ-11) について

交流 100 ～ 240V、50Hz/60Hz の地域でご使用になれます。
使用する国の電源コンセントに合った形状の変換アダプターを、あらかじめご用意ください。
電子式変圧器は使用しないでください。故障の原因となるおそれがあります。

保証について

本カメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内のみ有効です。
海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

使用上のご注意

カメラ本体

- ・ 本カメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内のみ有効です。
- ・ 海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。
- ・ カメラを落としたり、衝撃を与えないよう十分に注意してください。
- ・ カメラを持ち運ぶときは、本体に衝撃を与えないようにしてください。特にレンズや画像モニターをぶつけないよう十分に注意してください。
- ・ カメラを長時間連続使用した後は、すぐにバッテリーを取り出さないでください。
- ・ 画像モニターに太陽の光やライトが当たると、白っぽくなり見えにくくなる場合があります。
- ・ 画像モニターには、一部に常時点灯、あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。また、液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。
- ・ 画像モニターを強く押さないでください。
- ・ 温度変化の激しいところでは、カメラ内部で水滴が生じる結露という現象が発生し、ガラス面がくもったり、作動不良などを起こすことがあります。このようなときは、一度カメラをビニール袋かバッグに入れ、できるだけ温度変化をゆるやかにし、温度差が少なくなってから取り出すようにしてください。
- ・ 故障の原因になりますので、マイク、スピーカーの穴に針などを通さないでください。
- ・ カメラを濡らさないでください。また、濡れた手でカメラを操作しないでください。故障や感電の原因となります。
- ・ 大事な記録（結婚式や海外旅行等）を撮影されるときには、前もってテスト撮影をしてカメラの調子をご確認くださいとともに、使用説明書や予備のバッテリーの携帯などをお勧めいたします。

7 付録



結露の発生しやすい状態-----

- ・ 急激な温度差のあるところに移動したとき
- ・ 湿気の多いとき
- ・ 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷房が直接当たるとき

USB 電源アダプター

- ・ USB ケーブルは、同梱品をご使用ください
- ・ 強い衝撃を与えないでください。
- ・ 極端に暑いところや寒いところ、振動の激しいところでは使用しないでください。

- ・直射日光の当たるところや、高温になるところで使用しないでください。
- ・充電終了後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのままにしておくと火災の原因になることがあります。
- ・充電式バッテリーの接続部や接点部に他の金属が触れないようにしてください。ショートすることがあります。
- ・使用温度範囲は 10 ～ 40℃ です。10℃ 以下でご使用になると、充電が長時間になる場合があります。

充電式バッテリー DB-110

- ・このバッテリーはリチウムイオンタイプです。
- ・出荷時にはフル充電されていませんので、ご使用になる前に必ず充電してください。
- ・火災および火傷の危険がありますので、バッテリーを開けたり、潰したりしないでください。また、60℃ を超えて加熱したり、焼却したりしないでください。
- ・寒いところでは、バッテリーの特性上、十分に充電されているバッテリーを使用していても、使用時間が短くなります。バッテリーをポケットに入れるなどして暖かくしておいたり、予備のバッテリーを用意するなどしてください。
- ・使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、充電器から取り外してください。取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微小電流が流れていますので、過放電になり使用できなくなるおそれがあります。なお、カメラからバッテリーを取り出して 5 日間経過すると、設定した日付・時刻がリセットされます。ご使用の際には、再度、設定してください。
- ・長期間保存する場合は、年に 1 回、15 分程度充電した後、保存してください。
- ・涼しいところで保存してください。周囲の温度が 15 ～ 25℃ の乾燥したところをお勧めします。極端に暑いところや寒いところは避けてください。
- ・充電が完了したバッテリーをすぐに再充電しないでください。
- ・充電は周囲の温度が 10 ～ 40℃ の温度範囲で行ってください。高温で充電するとバッテリーを劣化させるおそれがあります。また、低温で充電すると、十分な充電ができません。
- ・十分に充電しても、使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命ですので、新しいバッテリーをお求めください。交換バッテリーは、必ず弊社推奨のバッテリーをお使いください。
- ・充電時間は同梱の USB 電源アダプター使用時、約 2.5 時間（25℃）です。



注意

- ・指定以外のバッテリーを使用した場合、破裂のおそれがあります。
- ・使用済みのバッテリーは電気店またはスーパーなどに設置されているリサイクルボックスに入れてください。

お手入れと使用／保管場所について

お手入れ

- ・レンズに指紋や汚れが付くと、画質が悪くなることがありますので、ご注意ください。
- ・レンズにゴミや汚れが付いたときは、直接手を触れず市販のプロアーで吹き飛ばすか、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- ・海辺や薬品を使う場所で使用した後は、特に入念に拭いてください。
- ・万一カメラの具合が悪いときは、修理受付センターにご相談ください。
- ・このカメラには高電圧回路があります。危険ですから絶対にご自分で分解しないでください。
- ・シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性の物をかけないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- ・画像モニターの表面は、傷つきやすいので、硬い物でこすったりしないでください。
- ・画像モニターの表面は、液晶ディスプレイの表面清掃用に市販されているクリーナー（有機溶剤の含まれていない物）を、柔らかい布に少量含ませて軽く拭き取ってください。

7

付録

使用／保管場所について

- ・以下のような場所での使用および保管は、カメラの故障の原因になりますので避けてください。
 - 高温多湿、または湿度、温度変化の激しい場所
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 振動の激しいところ
 - 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品などに長時間接触するところ
 - 強い磁場の発生するところ（モニター、トランス、磁石のそばなど）
- ・長時間本カメラをご使用にならないときは、バッテリーを取り出して保管してください。

お手入れ時のご注意

- ・必ず電源をオフにしてください。
- ・バッテリーやACアダプターを取り外して、お手入れしてください。

アフターサービスについて

1. 本カメラが万一故障した場合は、保証書に記載された保証期間内で無料修理いたしますので、当社修理受付窓口かお買い上げの販売店にお申し出ください。なお、修理にご持参いただくに際しての諸費用はお客様にご負担願います。
2. 次の場合は上記保証期間内でも無料修理の対象にはなりません。
 - ① 使用説明書に記載されている使用方法と異なる使用による故障
 - ② 使用説明書に記載されている当社指定の修理取り扱い所以外で行われた修理、改造、分解掃除などによる故障
 - ③ 火災、天災、地震、落雷、異常電圧などによる故障
 - ④ 浸（冠）水、塩害、液体（雨水、ジュース、酒類等）かぶり、落下、衝撃、砂（泥）入り、圧力などによる自然故障以外の故障
 - ⑤ 保管上の不備（使用説明書に記載）、電池などの液漏れ等、カビ発生、手入れの不備などによる故障
 - ⑥ 保証書の添付のない場合
 - ⑦ 販売店名、ご購入年月日などの記載がない場合、あるいはこれらを訂正された場合
3. 保証書に記載された保証期間経過後は、本カメラに関する修理は有償修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましては、お客様のご負担とさせていただきます。
4. 保証期間内であっても、本カメラについて各部点検、精密検査などを特別に依頼された場合には、別途実費をお客様にご負担いただきます。
5. 保証の対象となる部分は本体のみでケース、ストラップなどの付属品類および本カメラに付帯している消耗品類（電池類）は保証の対象となりません。
6. メモリーカードおよび内蔵メモリー内のデータについて一切の保証はできませんので、修理にお出しになる場合には、データのバックアップをお取りください。
7. 無償修理期間中であるか否かにかかわらず、本カメラの使用に関連するデータ損失、機会損失、利益損失、回復費用、第三者請求、その他付随的、間接的、あるいは二次的損害をはじめとするあらゆる損害について当社は責任を負いません。
8. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
国外に持ち出して修理が必要になった場合は、日本にお持ち帰りの上、修理の手続きをお願いします。
9. 販売店が独自に設けている延長保証は、本カメラの保証規定には適用されません。
10. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に保有しております。従って本期間中は原則として修理を受けいたします。なお、期間以後であっても修理可能な場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。
11. 浸（冠）水、砂（泥）入り、強度の衝撃、落下などで損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われる物などは修理できない場合もあります。ご了承ください。
12. 修理箇所によっては修理に日数がかかる場合がございます。
13. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

修理にお出しになる前

- ・バッテリーの消耗のチェックと使用説明書の再読（ご使用方法の再確認）をお願いいたします。
- ・ホームページに最新の情報が掲載されていますのであわせてご確認ください。ホームページのアドレスは、使用説明書の巻末に記載されています。

修理にお出しになる際

- ・故障内容と故障箇所をできるだけ詳しくお申し出ください。
- ・修理に直接関係のない付属品類は添付しないでください。

索引

英数字

1 画像表示.....	48
AC アダプター	144
ADJ モード.....	124
ADJ レバー.....	23
AdobeRGB.....	87
AE ロック.....	52
AE ロック維持.....	127
AF 補助光.....	60
AV 機器.....	98
Av モード.....	50
Bluetooth®.....	115
CTE (ホワイトバランス).....	73
DisplayPort.....	98
DNG.....	87
Exif.....	141
Fn ボタン.....	24
Fn ボタン設定.....	126
HDR 調 (イメージコントロール) ...	90
Image Sync.....	119
ISO 感度.....	66
ISO 感度設定.....	66
JPEG 画質調整.....	110
JPEG 記録サイズ.....	87
MF	62
MF 時の自動拡大表示.....	62
Movie SR.....	93
M モード.....	50
M モードダイヤル設定.....	54
M モードワンブッシュ AE.....	54, 127
ND フィルター.....	89
P モード.....	50
RAW.....	87
RAW 現像.....	103
SD メモリーカード.....	39
Shake Reduction.....	93
sRGB.....	87
SR の自動オフ.....	93
Tv モード.....	50
USB ケーブル.....	113

USB 電源アダプター.....	40
USER モード.....	120

あ

アウトドアモニター.....	132
赤目軽減強制発光 (フラッシュ) ...	68
赤目軽減スローシンクロ (フラッシュ)	68
アスペクト比.....	87
アフターサービス.....	165
位置情報の記録.....	119
イメージコントロール.....	90
色温度 (ホワイトバランス).....	76
色空間.....	87
色モアレ補正.....	109
インターバル合成.....	84
インターバル撮影.....	82
オート WB (ホワイトバランス) ...	72
オートエリア AF (フォーカス) ...	59
オートパワーオフ.....	134
オートブラケット.....	79
オートリサイズ.....	119
お手入れ.....	164
音声記録.....	88
音量.....	133

か

カード.....	39
階調補正.....	92
回転.....	97
ガイド表示.....	24, 127
カウントダウン.....	132
顔 / 瞳検出.....	60
拡大表示.....	48
加工.....	103
カスタマイズ.....	124
カスタマイズ設定メニュー.....	33
画像の自動回転.....	97
画像モニター.....	18
画像モニター設定.....	131
画像モニター節電.....	135
感度.....	66
強制発光 (フラッシュ).....	68

共有.....	113	初期化.....	26, 44
切出し（動画）.....	111	初期設定.....	42
記録可能枚数.....	41, 158	白とび警告.....	129
記録形式.....	87	スナップ撮影距離.....	59
記録設定（静止画）.....	87	スナップ（フォーカス）.....	59
記録設定（動画）.....	88	スポット（測光）.....	65
クイック拡大.....	130	スマートフォン.....	114
クイックビュー.....	46, 130	スマートフォン連携機能.....	119
グリッド.....	129	スリープ.....	135
グリッドの種類.....	131	スローシンクロ（フラッシュ）.....	68
クロスプロセス （イメージコントロール）.....	90	静止画設定メニュー.....	27
クロップ.....	87	接写.....	63
蛍光灯（ホワイトバランス）.....	72	セットアップメニュー.....	36
言語設定.....	43	セルフタイマー.....	86
高感度ノイズ低減.....	70	セレクト AF（フォーカス）.....	59
コピー.....	101	測距位置拡大.....	49
コンティニュアス AF（フォーカス）	59	測距点.....	61
コンバージョンレンズ.....	143	測距点と露出の関連付け.....	65
		測光モード.....	65
		ソフトモノトーン （イメージコントロール）.....	90

さ

再生.....	48, 94
再生アニメーション.....	49
再生時表示設定.....	129
再生順序設定.....	95
再生設定メニュー.....	32
撮影時表示設定.....	129
自動画像転送.....	119
自動水平補正.....	93
絞り値.....	50
絞り優先 AE.....	50
シャッター速度.....	50
シャッターボタン確定.....	128
シャッターボタン設定.....	128
シャッター優先 AE.....	50
シャドー補正.....	92
十字キー優先動作.....	61
充電.....	40
周辺光量補正.....	92
仕様.....	153
消去.....	99
省電力.....	134

た

ダイナミックレンジ補正.....	92
タイム.....	53
ダイヤル.....	16
太陽光（ホワイトバランス）.....	72
ダイレクトキー.....	22
多重露出.....	80
ダストリムーバル.....	149
タッチ AF.....	52
タッチパネル.....	21
中央重点（測光）.....	65
長秒時ノイズ低減.....	70
著作権情報.....	141
追尾 AF（フォーカス）.....	59
通信端末.....	114
手ぶれ補正.....	93
テレビ.....	98
電源.....	42
電源オフ時の画像転送.....	119
電源ボタンランプ.....	132
電子音.....	133

電子水準器	129
電子水準器の種類	131
転送	102
動画	56
動画設定メニュー	30
動画編集	111
同梱品	13
動作環境	160
ドライブモード	77
トリミング	105
曇天（ホワイトバランス）	72

な

内蔵メモリ	40, 101
日時設定	43
認証マーク	2
ノイズリダクション	70

は

ハードモノトーン （イメージコントロール）	90
ハイコントラスト白黒 （イメージコントロール）	90
ハイライト重点（測光）	65
ハイライト補正	92
白熱灯（ホワイトバランス）	73
パソコンと接続	113
バッテリー	39, 40
バッテリー状態	20
バルブ	53
バルブタイマー	53
日陰（ホワイトバランス）	72
ピクセルマッピング	149
ヒストグラム	129
ビビッド（イメージコントロール）	90
表示切り替え	20
ピント合わせ	47
ピンポイント AF（フォーカス）	59
ファイル名	139
フォーカス	60
フォーカスアシスト	60
フォーカスパー	62
フォーカスフレーム	47

フォーマット	44
フォルダー新規作成	136
フォルダー名	137
複数画像選択	96
複数画像表示	95
ブラケット撮影	79
フラッシュ	67
フラッシュ光量補正	68
フラッシュモード	68
ブリーチバイパス （イメージコントロール）	90
フリッカー低減	131
フルプレススナップ	64
フレームレート	88
プレビュー	54
プログラム AE	50
プログラムモード	46
プログラムライン	53
プロテクト	100
分割（測光）	65
分割（動画）	111
ペアリング	115
編集	103
保管	164
保護	100
ポジフィルム調 （イメージコントロール）	90
ボタン	16
ボリュームラベル	45
ホワイトバランス	72
ホワイトバランス補正	108

ま

マクロ	63
マニュアル WB（ホワイトバランス）	75
マニュアルフォーカス	62
マニュアル露出	50
マルチパターンオート （ホワイトバランス）	72
無限遠（フォーカス）	59
無線 LAN	117
メニュー	25

メニュー選択位置保持.....	26
メモリーカード.....	39
モノトーン（イメージコントロール）	90

5

ライブビュー拡大.....	47
リサイズ.....	105
リモート撮影.....	119
リングキャップ.....	143
レトロ（イメージコントロール）....	90
レバー.....	16
レベル補正.....	106
レンズアダプター.....	143
連続撮影.....	78
連動外の自動補正.....	51
連番設定.....	140
連番リセット.....	140
ローパスセクター.....	89
露出モード.....	50
露出モード切替.....	123
露出補正.....	55

お困りのときは

本書の「困ったときは」をご覧ください。問題が解決しないときには、下記にご確認ください。

■お客様相談センター <https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/>

ナビダイヤル 0570-001313（市内通話料金でご利用いただけます）

営業時間 10：00～17：00

休業日 日曜日、年末年始、弊社休業日、ビル施設点検日は休業

修理受付

■ホームページ／電話による修理受付

ピックアップリペアサービス申し込み

ナビダイヤル 0570-001301（市内通話料金でご利用いただけます。）

営業時間 10：00～17：00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

※このサービスは日本全国どこからでも電話一本で弊社指定の宅配業者が梱包資材を持ってお伺いし、故障した製品を梱包してお預かりのうえ、弊社修理拠点まで安全にお届けするサービス（無料）です。

インターネットからもお申し込みいただけます。

https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair_entry-j.html

修理お問い合わせ窓口

ナビダイヤル 0570-005140（市内通話料金でご利用いただけます。）

営業時間 10：00～17：00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

FAX 03-3775-8548

※都道府県別の修理品のご送付またはお持ち込み先につきましては、弊社ホームページでご確認いただけます。

https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair_entry-j.html

リコーイメージング株式会社
〒143-8555 東京都大田区中馬込 1-3-6
2022年12月



* 4 Q C X Z 0 2 1 B *

Jp

JA Printed in Vietnam